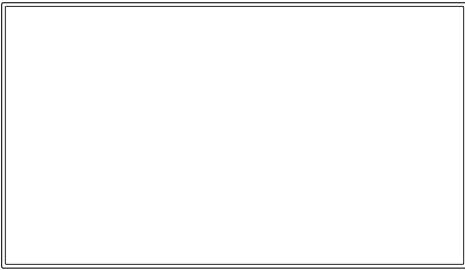


取扱説明書 詳細編

UHD 液晶ディスプレイ **業務用**

品番	TH-98SQE2J	(98V 型)
	TH-86SQE2J	(86V 型)
	TH-75SQE2J	(75V 型)
	TH-65SQE2J	(65V 型)
	TH-55SQE2J	(55V 型)
	TH-50SQE2J	(50V 型)
	TH-43SQE2J	(43V 型)



micro
SD
XC

4K
PROFESSIONAL
* 実解像度: 3840 x 2160 画素

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4～8 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-98SQE2J (98V 型)、TH-86SQE2J (86V 型)、TH-75SQE2J (75V 型)、TH-65SQE2J (65V 型)、TH-55SQE2J (55V 型)、TH-50SQE2J (50V 型)、TH-43SQE2J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Dolby Audio

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55SQE2J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	4
使用上のお願い	9
付属品の確認	13
付属品	13
リモコンの電池の入れかた	14
ファンクションボードの取り付け	14
移動するときの注意	15
別売オプション	16
外部 IR 受信機の取り付け	16
外部 IR 受信機の接続方法	17
Wireless LAN アダプターの取り付け	19
壁掛け金具とスタンドを 取り付ける際の注意	19
接続	20
電源コードに関する注意	20
映像機器の接続	22
接続の前に	23
HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3・ HDMI IN 4 端子の接続例	23
DisplayPort IN 端子の接続例	24
SERIAL IN (シリアル) 端子の接続	25
IR IN 端子の接続例	27
AUDIO OUT 端子の接続例	27
USB 端子の接続例	27
USB-C 端子の接続例	28
HDMI OUT 端子の接続例	28
各部の基本説明	29
ディスプレイ	29
リモコン	31
基本の操作	32
初めて電源を「入」にしたとき	33
ホーム画面	36
基本機能の操作	36
入力信号を切り換える	36
入力信号・画質モードなどを知りたいとき	37
音量を調節する	37
消音を使う	38
映像に合わせた拡大画面にする (画面モード)	38
オンスクリーンメニューについて	38
文字入力について	39
ディスプレイ設定	40
[映像]	40
[音声]	42

[ネットワーク/インターネット]	42
[サイネージ設定]	44
[システム設定]	51
ネットワーク接続	54
コマンド制御	54
LAN 経由の制御コマンドについて	54
PLink プロトコル	55
複数台監視制御ソフトウェアについて	57
ネットワークスタンバイモード	57
アプリケーション	58
[HTML5 CMS ランチャー]	58
[メディアプレーヤー]	60
[ディスプレイ設定]	66
[ファイルマネージャー]	67
[システムアップデート]	70
[アプリインストーラー]	70
[Vewd Browser]	71
その他のアプリケーション	76
アプリケーションのインストール	77
アプリケーションの削除	77
Wireless Display	78
USB ストレージデバイスでの メディアの再生	79
USB 自動再生機能	79
プレイリストを使った USB 自動再生機能	79
USB でサポートしている メディアフォーマット	80
プリセット信号	82
ソフトウェアを更新するには	84
修理を依頼される前に	85
保証とアフターサービス (よくお読みください)	88
仕様	89
ソフトウェアライセンス	93
商標について	94

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

■ 簡単なご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

・ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

■ 本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください




たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクタ（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コードホルダーが電源コネクタに掛かっていることを確認してください。(98V 型のみ)
( 21 ページ)

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 据置きには VESA 規格準拠の据置きスタンドを必ずご使用ください。
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
98V 型：
VESA 800 × 400
86/75/65V 型：
VESA 600 × 400
55V 型：
VESA 400 × 400
50/43V 型：
VESA 200 × 200
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 3 乾電池、ねじ、プレート、ホルダー、およびクランパーは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」


内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
( 9 ページ)

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。


- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れてください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。
( 14 ページ)

- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



取り扱いを誤ると、電池のショートにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

 電源プラグを抜く

- 開梱や持ち運びは次の人数で行ってください
98/86/75V 型：4人以上
65/55/50/43V 型：2人以上



落下してけがの原因になることがあります。

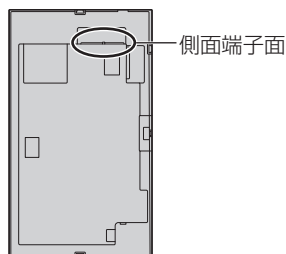
注意

- 運搬や移動をする場合は、必ず取っ手を持ち行ってください（98/86/75/65V 型のみ）



落下してけがの原因になることがあります。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず側面端子面を上側にして設置してください



異なる方向に設置すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 本機をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔 2 800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

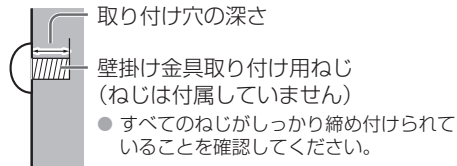
- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

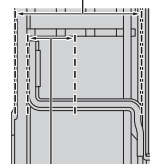
設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持するように適切な換気を実行してください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて



取り付けねじ長さ許容値



取り付け穴の深さ

（側面より見る）

- (A) 取り付けピッチ
- (B) 取り付け穴の深さ
- (C) 取り付けねじ長さ許容値
- (D) ねじ（本数）

	(A)	(B)	(C)	(D)
98V 型	800 mm × 400 mm	12 mm	-	M8 (4)
86V 型	600 mm × 400 mm	12 mm	-	M8 (4)
75V 型	600 mm × 400 mm	10 mm	23 mm	M8 (4)
65V 型	600 mm × 400 mm	10 mm	24 mm	M6 (4)
55V 型	400 mm × 400 mm	10 mm	24 mm	M6 (4)
50V 型	200 mm × 200 mm	10 mm	24 mm	M6 (4)
43V 型	200 mm × 200 mm	10 mm	23 mm	M6 (4)

■ 接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。

コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

偏向サングラス使用時、画面表示が見えない場合があります。

- 液晶パネルの偏向特性による現象です。故障ではありませんのでご了承ください。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合*
98V 型	0.00011% 以下
86V 型	0.00007% 以下
75V 型	0.00004% 以下
65V 型	0.00004% 以下
55V 型	0.00004% 以下
50V 型	0.00004% 以下
43V 型	0.00004% 以下

※ IS09241-307 の基準に従って副画素 (サブピクセル) 単位で計算しています

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

■有線 LAN/無線 LAN について

ディスプレイの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

- 下記の機器は、ディスプレイと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでディスプレイを使用すると、電波の干渉により通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- ・電子レンジなど
- ・産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- ・特定小電力無線局

ディスプレイの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ディスプレイと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ディスプレイからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス (金属メッシュ入りガラスを除く) などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、無線 LAN または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN または有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**
※ 携帯・自動車電話からもご利用になれます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
 9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

国外での取り扱いについて

- ディスプレイは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

使用できる無線 LAN のチャンネルについて

- 下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域（中心周波数）
日本	ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ～ 13 チャンネル	2 412 MHz ～ 2 472 MHz
		36/40/44/48 チャンネル（W52）	5 180 MHz ～ 5 240 MHz
	IEEE802.11a/n	52/56/60/64 チャンネル（W53）	5 260 MHz ～ 5 320 MHz
		100/104/108/112/ 116/120/124/128/ 132/136/140 チャンネル（W56）	5 550 MHz ～ 5 700 MHz

- 電波法の規制により無線 LAN の 5 GHz 帯のうち、一部の帯域で使用に制限があります。
- W53 は屋外では使用できません。
- W52 は高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除いて屋外で使用できません。
- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由してください。

2.4DS/OF4

本機は、2.4 GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ～ 2 472 MHz（CH1 ～ CH13）を使用し、想定干渉距離は 40 m です。



本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

■ セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

無線 LAN 製品ご使用時における セキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）特定の人物になりますまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



通気孔のゴミやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

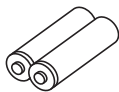
付属品が入っていることをご確認ください。
< >は個数です。

リモコン< 1 >

- DPVF3675ZA/X1



単3形乾電池< 2 >
(リモコン用)



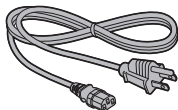
クランパー< 3 >

- DPVF3412ZA/X1



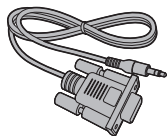
電源コード< 1 >
(約 2 m)

- DPVF3698ZA/X1
(DPVF3883ZA/X1)



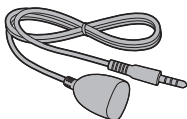
RS232C ケーブル< 1 >
(約 1 m)

- DPVF4637ZA/X1



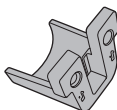
外部 IR 受信機< 1 >

- DPVF3415ZA/X1



外部 IR 受信機ホルダー< 1 >

- DPVF3416ZA/X1



ねじ< 2 >

(外部 IR 受信機ホルダー用)

- DPVF3417ZA/X1

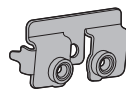


プレート< 1 >

98V 型のみ

(外部 IR 受信機ホルダー用)

- DPVF3672ZA/X1



ねじ< 3 >

98V 型のみ

(外部 IR 受信機ホルダー用)

- DPVF4202ZA/X1

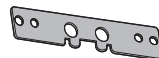


プレート< 1 >

86V 型のみ

(外部 IR 受信機ホルダー用)

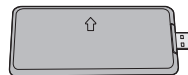
- DPVF3524ZA/X1



Wireless LAN アダプター< 1 >

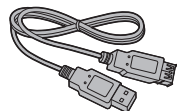
98/86V 型のみ

- DPVF4659ZA/X1



Wireless LAN アダプター用延長ケーブル< 1 >
98/86V 型のみ

- DPVF3414ZA/X1



スペーサー< 4 >

55/50/43V 型のみ

- DPVF4639ZA/X1



ねじ< 4 >

55/50/43V 型のみ
(スペーサー用)

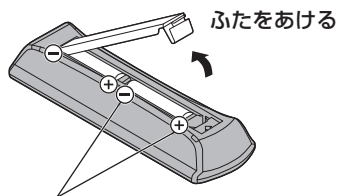
- DPVF4640ZA/X1



お願い

- 付属の外部 IR 受信機を本機に接続しないとリモコンで操作できません。(98/86/75V 型のみ)
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた



単 3 形乾電池

電池を入れ、ふたをしめる
(⊖ 側から先に入れます。)

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

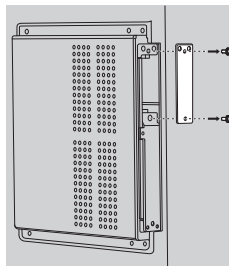
ファンクションボードの取り付け

機能拡張用の幅の狭いファンクションボードを取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

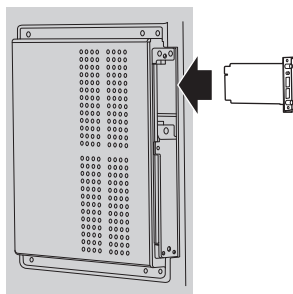
お願い

- ファンクションボードの取り付け、取り外しの際は必ずディスプレイ本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

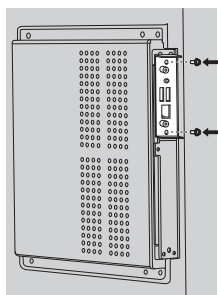
1 2本のねじと本機のスロットカバーを外す



2 本機のスロットにファンクションボードを挿入する

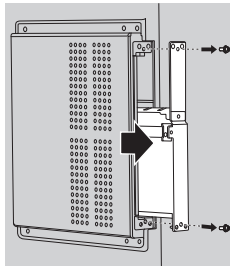


3 2本のねじで締め付ける

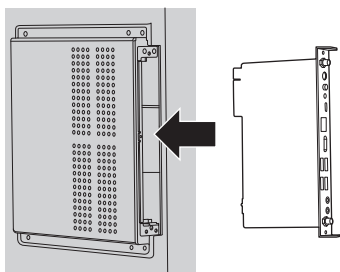


フルサイズのファンクションボードを取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

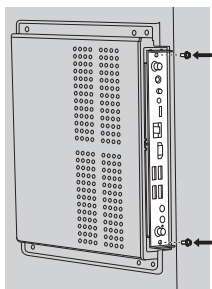
1 2本のねじと本機のスロットカバーを外す



2 本機のスロットにファンクションボードを挿入する



3 2本のねじで締め付ける



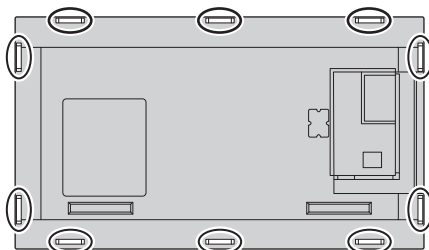
移動するときの注意

98/86/75/65V 型

以下の機種には、持ち運びのための取っ手があります。移動する際には取っ手を持ってください。

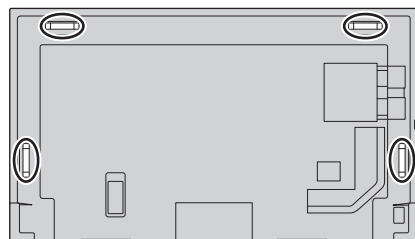
98/86V 型

○：取っ手



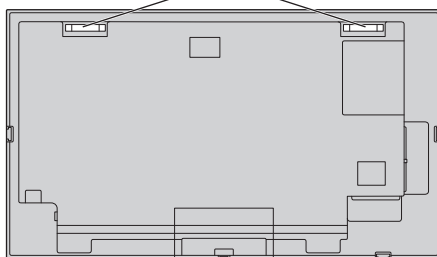
75V 型

○：取っ手



65V 型

取っ手



お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。
(98/86/75/65V 型)
- 持ち運びは次の人数で行ってください。
98/86/75V 型：4 人以上
65/55/50/43V 型：2 人以上
落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶/パネル面を立てた状態で持って移動してください。
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
液晶パネルの故障の原因になります。
またパネルが割れてけがの原因となることがあります。

別売オプション

予兆監視ソフトウェア (基本ライセンス / 3 年ライセンス)

- ・ ET-SWA100 シリーズ*

※ ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

お知らせ

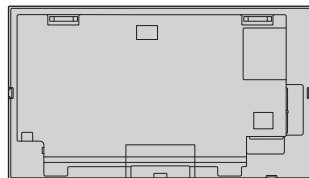
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

外部 IR 受信機の取り付け

65/55/50/43V 型

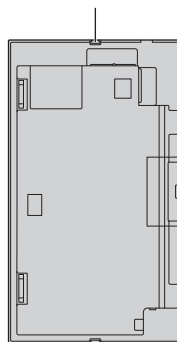
IR 受信機はディスプレイに内蔵されています。リモコン操作時に内蔵 IR 受信機の反応が悪い場合は、付属の外部 IR 受信機をディスプレイに取り付けることでリモコンの反応を改善することが可能です。

横設置時



外部 IR 受信機の接続位置

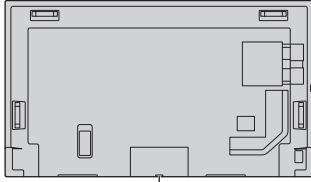
縦設置時



98/86/75V 型

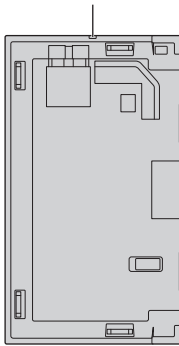
IR 受信機はディスプレイに内蔵されていません。
リモコンで操作する場合は、外部 IR 受信機を接続
する必要があります。

横設置時



外部 IR 受信機の接続位置

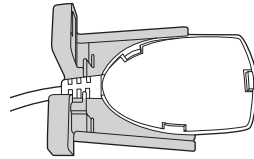
縦設置時



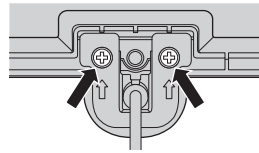
外部 IR 受信機の接続方法

75/65/55/50/43V 型

- 1 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する



- 2 2本のねじで締め付ける
背面



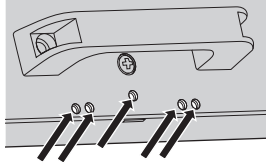
- 3 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する



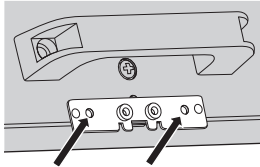
86V型

1 ディスプレイの5本のねじを外す

背面

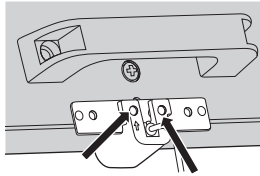


2 (5本のねじのうち) 2本のねじをプレートに締め付ける

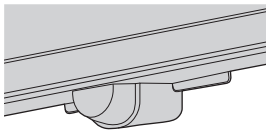


3 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する

4 (5本のねじのうち) 2本のねじをホルダーに締め付ける (1本は予備)



前面



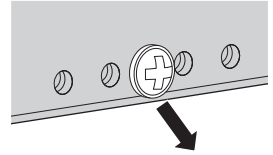
5 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する



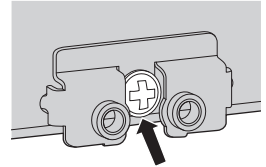
98V型

1 ねじを外す
(外したねじは使用しない)

背面

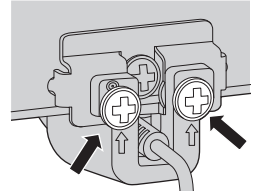


2 付属のねじ 1本をプレートに締め付ける

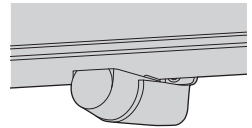


3 外部 IR 受信機ホルダーに IR 受信機を固定する

4 付属のねじ 2本をホルダーに締め付ける



前面



5 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する

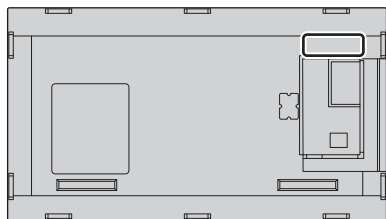


Wireless LAN アダプターの取り付け

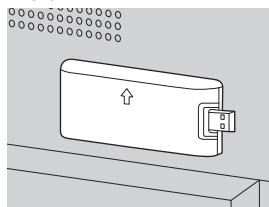
98/86V 型

Wireless LAN アダプターを固定する場合は、以下の手順で行ってください。

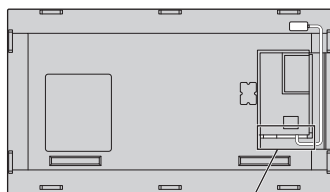
1 マジックテープの剥離紙をはがす



2 Wireless LAN アダプターを背面カバーに固定する



3 延長ケーブルを Wireless LAN アダプターといずれかの USB 端子に接続する

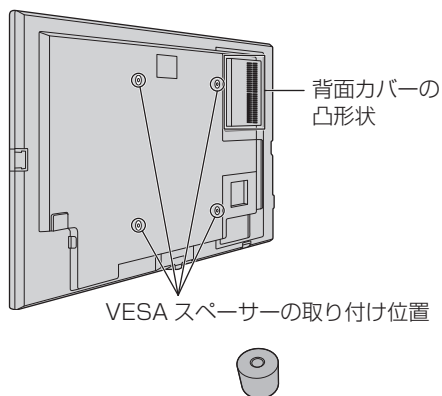


壁掛け金具とスタンドを取り付ける際の注意

55/50/43V 型

壁掛け金具やスタンドを取り付ける際に、背面カバーの VESA 穴付近の凸形状が干渉する場合があります。

その際は VESA のスペーサーを使用してください。

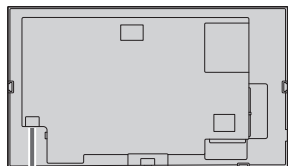


接続

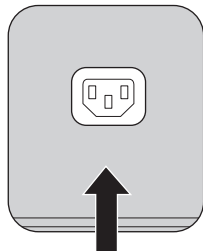
電源コードに関する注意

86/75/65/55/50/43V 型

本体後面



電源コードの固定方法

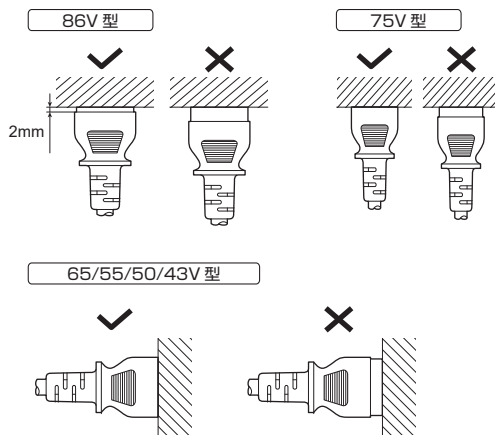


電源コード (付属)

コネクターを本体に差し込む

お願い

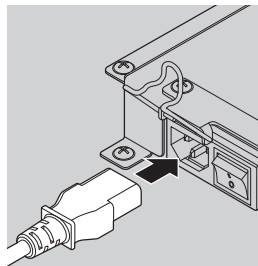
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。



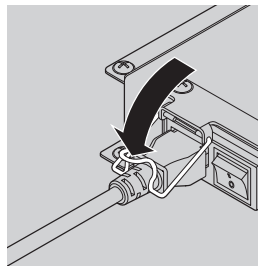
- 1 電源コードが差し込めるように、電源コードホルダーが上がっていることを確認する



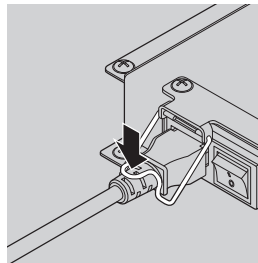
- 2 コネクターの向きに気を付けて、電源コードを奥まで差し込む



- 3 電源コードホルダーを下げる

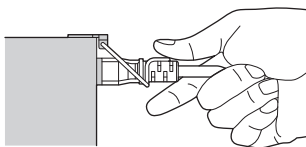


- 4 電源コードホルダーの端が電源コードにかチッとハマるまで電源コードホルダーを押し下げ、電源コードを固定する



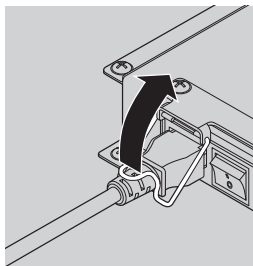
お願い

- 電源コードホルダーを押し下げて電源コードを固定するときは、<AC IN> 端子に無理な力が加わらないように電源コードの反対側を持ってください。

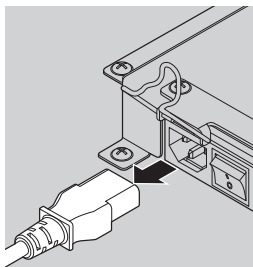


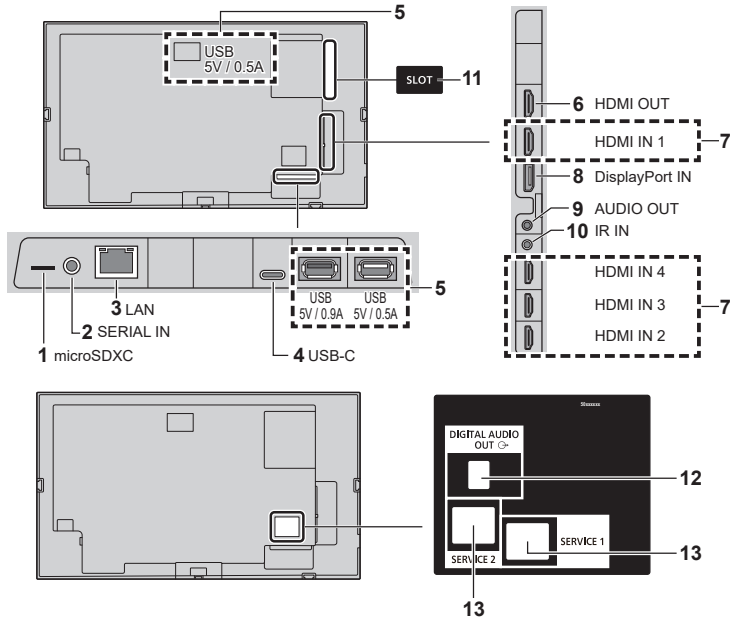
電源コードを外すとき

- 1 電源コードを固定している電源コードホルダーを上を持ち上げる



- 2 電源コードホルダーを持ちながら、ディスプレイの<AC IN> 端子から電源コードを引き抜く





- 1 **microSDXC** : microSD カード端子
microSD カードを接続します。
- 2 **SERIAL IN** : シリアル入力端子
パソコンに接続して本機を制御します。
- 3 **LAN** : LAN 端子
ネットワークに接続して本機を制御します。
- 4 **USB-C** : USB-C 端子
USB-C 端子があるパソコンや映像機器を接続します。
受像時に 15 W(5 V/ 最大 3.0 A) まで外部機器に電源を供給できます。
- 5 **USB** : USB 端子 (3 系統)
USB メディアプレーヤー機能または USB 自動再生機能で使用します。また、受像時に 5 V/ 最大 0.9 A または 0.5 A まで外部機器に電源を供給できます。
- 6 **HDMI OUT** : HDMI 出力端子
HDMI 1 端子から入力された映像・音声信号を出力します。HDMI 入力がある映像機器に接続します。
- 7 **HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、HDMI IN 4** : HDMI 入力端子 (4 系統)
HDMI 出力がある映像機器を接続します。また、HDMI IN 1 端子は ARC 対応機器と接続することで音声を出力します。

- 8 **DisplayPort IN** : DisplayPort 入力端子
DisplayPort 端子があるパソコンや映像機器を接続します。
- 9 **AUDIO OUT** : アナログ音声出力端子
アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。
- 10 **IR IN** : 赤外線信号入力
付属の外部 IR 受信機を接続します。
- 11 **SLOT** : 機能拡張用スロット
(P. 14 ページ)
お知らせ
● 対応するファンクションボードについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 12 **DIGITAL AUDIO OUT** :
デジタル音声出力端子
デジタル音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。
- 13 **SERVICE 1、SERVICE 2** : サービス端子
サービス専用
お知らせ
● サービスマン以外は使用しないでください。故障の原因になる場合があります。

接続の前に

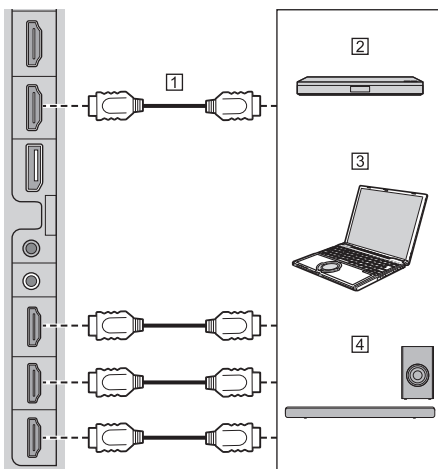
- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー一部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(P.82 ページ) をご覧ください。

HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3・HDMI IN 4 端子の接続例

お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 本機は、VIERA LINK には対応していません。
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものと、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。

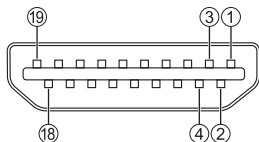


- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ブルーレイディスクプレーヤー
- ③ パソコン
- ④ ARC オーディオ機器

お願い

- ARC オーディオ機器は、必ず HDMI IN 1 端子に接続してください。

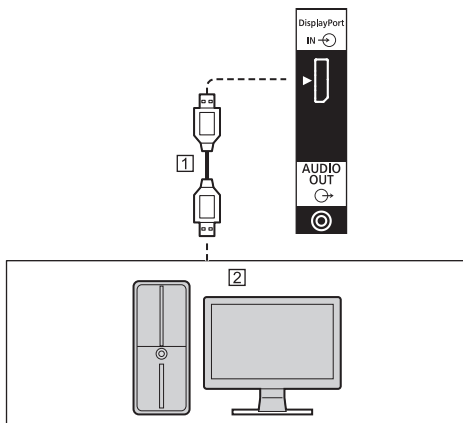
HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック +
⑪	T.M.D.S クロック シールド
⑫	T.M.D.S クロック -
⑬	CEC
⑭	NC (無接続) *
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	DDC/CEC グランド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

※ HDMI IN 1 端子のみ ARC (Audio Return Channel)

DisplayPort IN 端子の接続例

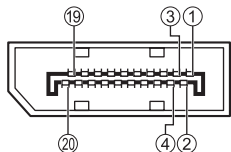


- ① DisplayPort ケーブル (市販品)
- ② DisplayPort 出力のあるパソコン

お知らせ

- 接続する機器によって、映像の表示に時間がかかる場合があります。
- DisplayPort 1.4 準拠の認証済みケーブルをご使用ください。
- 使用するケーブルやミニ変換コネクタの種類によっては、4K 映像が表示されない場合があります。
- DisplayPort に対応した初期のチップセットやグラフィックカードを使用しているパソコンと接続する場合、パソコンの DisplayPort 出力を本機に接続すると、本機やパソコンが誤動作することがあります。その場合は、本機またはパソコンの電源をいったん切り、再度電源を入れてください。本機に DisplayPort 出力を入力する場合は、最新のチップセットおよびグラフィックカードを搭載したパソコンの使用を推奨します。

DisplayPort IN 端子のピン配列と信号名



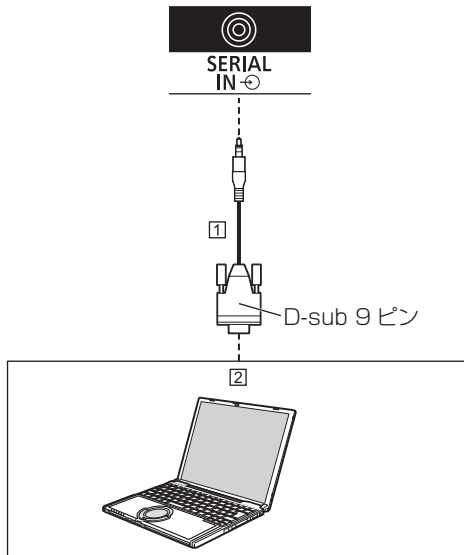
ピン No.	信号名
①	メインリンクレーン 3 -
②	グラウンド
③	メインリンクレーン 3 +
④	メインリンクレーン 2 -
⑤	グラウンド
⑥	メインリンクレーン 2 +
⑦	メインリンクレーン 1 -
⑧	グラウンド
⑨	メインリンクレーン 1 +
⑩	メインリンクレーン 0 -
⑪	グラウンド
⑫	メインリンクレーン 0 +
⑬	コンフィグ 1
⑭	コンフィグ 2
⑮	補助チャンネル +
⑯	グラウンド
⑰	補助チャンネル -
⑱	ホットプラグ検出
⑲	グラウンド
⑳	+ 3.3V 電源

SERIAL IN (シリアル) 端子の接続

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンは本機に付属していません。

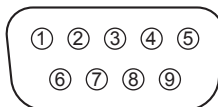


- ① RS-232C ケーブル (付属品)
- ② パソコン

お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンの接続には、付属の RS-232C ケーブルを使用してください。

SERIAL（シリアル）端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	NC
②	RXD
③	TXD
④	NC
⑤	GND
⑥	NC
⑦	NC
⑧	NC
⑨	NC

※パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル：RS-232C 準拠

同期方式：調歩同期（非同期）

ボーレート：9 600 bps

パリティ：なし

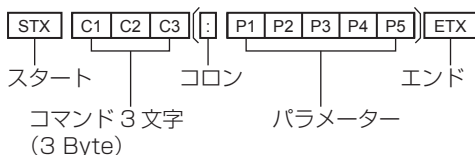
キャラクター長：8 ビット

ストップビット：1 ビット

フロー制御：なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切り換え（トグル）
	HM1	HDMI IN 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI IN 2 入力 (HDMI2)
	HM3	HDMI IN 3 入力 (HDMI3)
	HM4	HDMI IN 4 入力 (HDMI4)
	DP1	DisplayPort IN 入力
	SL1	SLOT 入力 (SLOT)
	UC1	USB-C 入力 (USB-C)
DAM	WD1	Wireless Display 入力 (Wireless Display)
	AUTO	オート
	FULL	フル
	1609	16:9
	0403	4:3
	CINM	ムービー
	NATV	リアル

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。

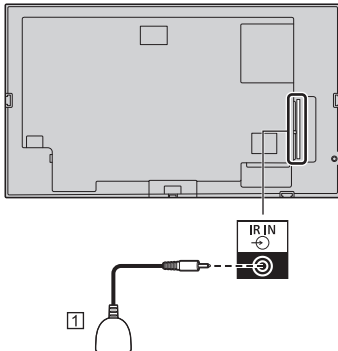
お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン（:）は必要ありません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

IR IN 端子の接続例

外部 IR 受信機（付属品）を接続します。

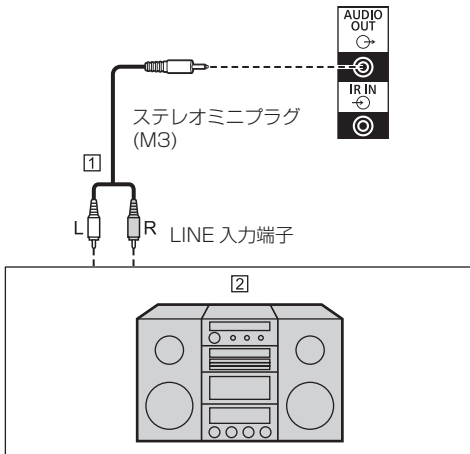


① 外部 IR 受信機（付属品）

AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



① ステレオ音声ケーブル（市販品）

② オーディオ機器

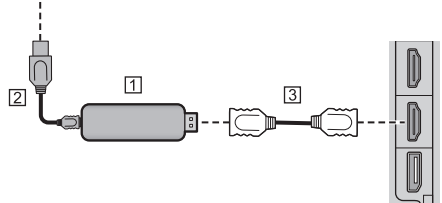
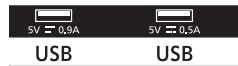
USB 端子の接続例

市販の USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能や USB 自動再生機能を使用します。（[P.60・79](#) ページ）

また、別売のスティック PC などを接続した場合に電源を供給します。

お知らせ

- スティック PC や接続ケーブルは本機に付属していません。
- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーのアクセスランプが点滅します。
- USB メモリーは、ディスプレイの電源が入っているときでも切れているときでも、接続したり、取り出ししたりできます。



① スティック PC（市販品）

② USB ケーブル（市販品）

③ HDMI 延長ケーブル（市販品）

受像時、USB 端子により、5V/0.9A または 5V/0.5A まで外部機器に電源を供給することができます。

お願い

- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーを接続する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
 - ・ 接続した USB メモリーのアクセスランプが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み込んでいることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。

- USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でもアクセスランプが点滅したままになる場合、または、アクセスランプなどの機能がいない場合があります。その場合は、[安全な取り外し]で USB メモリーを取り外してください。
([p.48](#) ページ)
- USB メモリーの接続と取り出しを頻繁に繰り返すことはおやめください。接続してから少なくとも 5 秒待ってから USB メモリーを取り出し、再び接続する場合は、少なくとも 5 秒待ってから接続してください。ディスプレイが、USB メモリーの接続と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。
- データにアクセスしている途中で誤って本機の電源を切ったり、USB メモリーを取り出ししたりすると、次回 USB メモリーを使用時にデータにアクセスできないことがあります。
その場合は、本体の電源を切 / 入してください。

USB-C 端子の接続例

本機の USB-C 端子は複数のプロトコルと最大 5V/3A の電力供給をサポートしています。USB-Type-C 仕様を満たすデバイスと互換性があります。

4K ビデオストリーム (DisplayPort オルタナートモードをサポートしている場合) や USB3.0 データ転送、および 5V/3A の電源供給は、プラグの向きに対応した USB-C 接続を通してサポートされます。

お知らせ

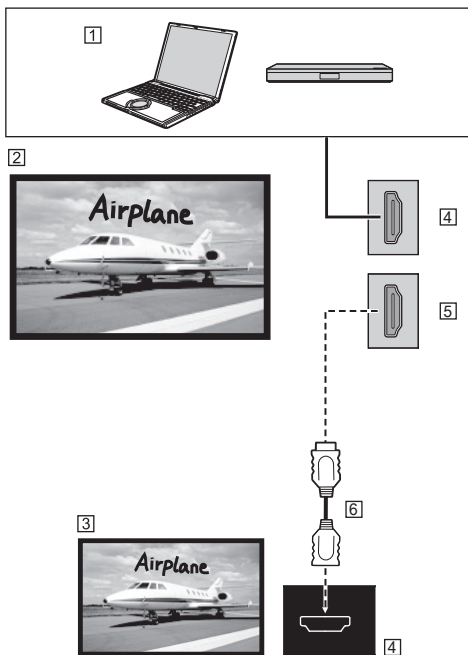
- Type-C 接続を通してビデオをストリーミングするには、USB-C と電子認証された USB-C ケーブルを使用してください。また、e マークの付いた USB-C - USB-A 変換ケーブルをデータ伝送に使用できます。

HDMI OUT 端子の接続例

HDMI IN 1 端子への入力信号を、他のサブモニターに表示できます。

お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したするなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。
使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。
- 本機の HDMI OUT 端子から、他の SQE2 モデルに接続して使用する場合、接続されているすべてのディスプレイの電源が入っていないと、すべてのディスプレイで映像が出ないことがあります。

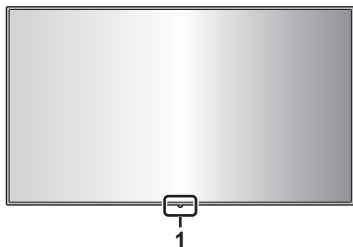


- ① パソコン、ブルーレイディスクプレーヤーなどの映像機器
- ② 本機
- ③ サブモニター
- ④ HDMI 入力端子
- ⑤ HDMI 出力端子
- ⑥ HDMI ケーブル (市販品)

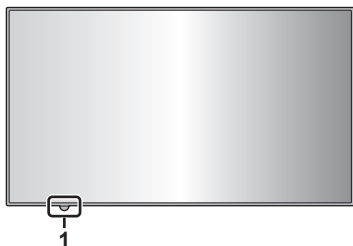
各部の基本説明

ディスプレイ

98/86/75V 型



65/55/50/43V 型

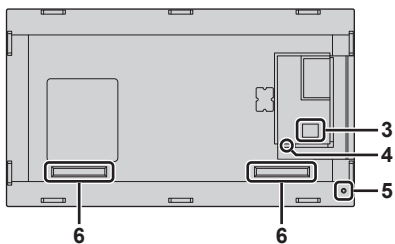


- 1 外部 IR 受信機 (☞ 16 ページ)
 本体の電源「入」のとき (電源スイッチ「入」)

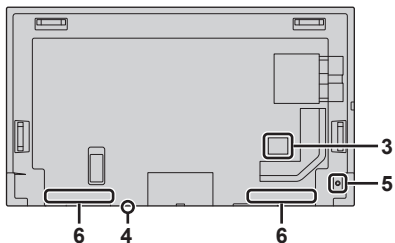
LED の状態	ディスプレイの状態
緑色点灯	映像表示状態
赤色点灯	スタンバイ状態になったとき
赤色と緑色の点滅	起動中

本体の電源「切」のとき (電源スイッチ「切」):
 消灯

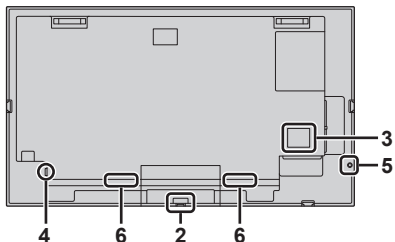
98/86V 型



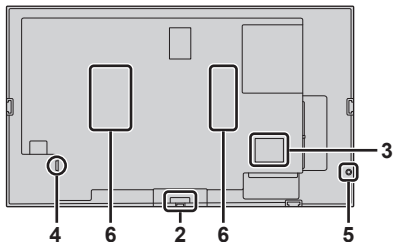
75V 型



65/55V 型



50/43V 型



2 内蔵 IR 受信機 (65/55/50/43V 型)

本体の電源「入」のとき(電源スイッチ「入」)

LEDの状態	ディスプレイの状態
緑色点灯	映像表示状態
赤色点灯	スタンバイ状態になったとき
赤色と緑色の点滅	起動中

本体の電源「切」のとき(電源スイッチ「切」):
消灯

3 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。
([P.22](#) ページ)

4 電源スイッチ

電源を「切」「入 (I)」します。

電源スイッチの「切」「入」は、電源プラグの抜き差しと同じです。まず電源スイッチを「入 (I)」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」または「入」にしてください。

5 ジョイスティック

ホームメニューを表示しているとき(※1)、または画像を表示しているとき

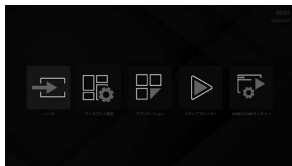
ディスプレイの電源「入」/「切」: ジョイスティックの中央を数秒間押し続けると、ディスプレイが点灯または消灯します。

任意のメニューが表示されている場合(※1 ※2)

メニューのカーソル移動: ジョイスティックの右/左/上/下キーを押します。

メニュー項目の選択: ジョイスティックの中央を1回押します。

※1 ホームメニュー



※2 メニュー例



お知らせ

- ジョイスティックですべての操作を行うことはできません。基本的な操作はリモコンをご使用ください。

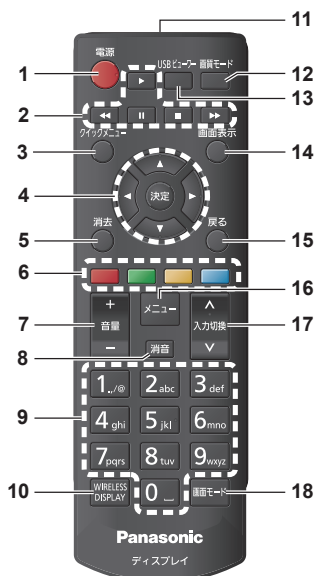
6 内蔵スピーカー

音は後方へ出力されます。

お知らせ

- AUDIO OUT 端子へ接続しているときは、内蔵スピーカーから音声は出力されません。
- 接続する機器によっては、内蔵スピーカーから音声出力される場合があります。

リモコン



1 電源ボタン

- 本体の電源ボタンが「入」状態で電源を切/入します。

2 ナビゲーションボタン

- HDMI CEC 機能の操作に使用します。
- メディアプレーヤーで画像のスライドショーを行う場合は、以下のボタンが使用できます。
 - ▶ 再生ボタン：スライドショーを開始します。
 - 停止ボタン：スライドショーを停止します。

3 クイックメニューボタン

- ホーム画面を表示します。

4 決定ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。

5 消去ボタン

- 表示されたメニューを閉じて終了します。

6 カラーボタン

- 本機では使用しません。

7 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。

8 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。

9 数字 (1 ~ 0) ボタン

- IP アドレスの入力などで使用します。

お知らせ

- 本機では数字以外の入力はできません。

10 WIRELESS DISPLAY ボタン

- Wireless Display 接続画面を開きます。

11 リモコン発信部

12 画質モードボタン

- 画質モードを切り換えます。

13 USB ビューワーボタン

- 本機では使用しません。

14 画面表示ボタン

- 入力や解像度などの各種設定状態を確認します。

15 戻るボタン

- 前の画面に戻ります。

16 メニューボタン

- メインメニューを表示します。

17 入力切替ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。

18 画面モードボタン

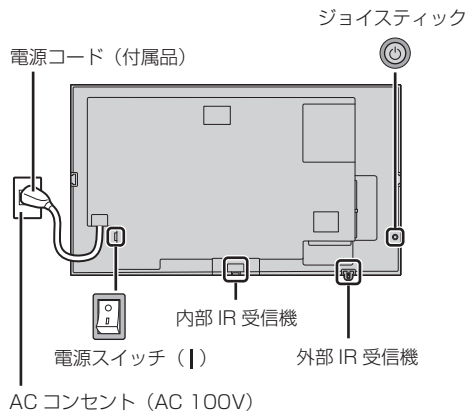
- 画面モード (アスペクト) を切り換えます。

お知らせ

- 本書では <入力切替> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。

基本の操作

55 インチモデルの例 (P. 29 ページ)



リモコンは IR 受信機へ向けて操作してください



お願い

- 本体の IR 受信機とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンは IR 受信機の正面あるいは IR 受信機を見渡せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体の IR 受信機へ向けて操作する場合は、IR 受信機の正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体の IR 受信機に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する
(P. 20 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の電源スイッチを「入 (I)」にする

■ リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 赤色) でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色点灯 (スタンバイ)

お知らせ

- 電源プラグを抜いたあとも、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。
- 電源が「入」またはスタンバイのときに本体の電源スイッチを「切」にすると、本体の電源が切れます。

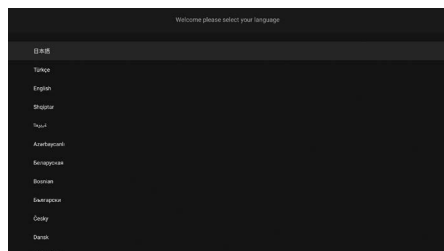
初めて電源を「入」にしたとき

初めて電源を入れるときは、初期設定を行う必要があります。画面の指示に従ってセットアップします。表示される案内に従い、◀▶▼▲と<決定>を使用して、順番に選択、設定、確認および続行をします。<戻る>を使用して前の手順に戻り、選択内容を変更できます。

設定する必要がない場合、またはあとで設定する場合は、画面上で[次へ]などを選択し、<決定>を押して続行します。

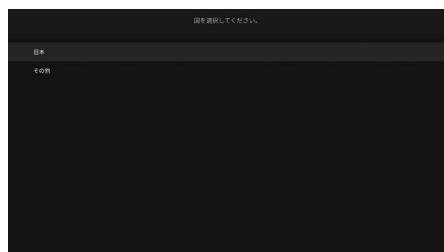
1 言語選択

言語選択オプションが画面に表示されます。言語を選択し、<決定>を押して続行します。



2 国選択

国を選択し、<決定>を押して続行します。



3 ログイン

PIN の設定画面が表示されます。PIN の初期設定値は [0000] です。変更しない場合は [PIN をスキップする] を選択し、<決定>を押してください。変更する場合は別の 4 桁の数字を入力し、<決定>を押してください。あとからメニュー操作のときに PIN を入力するように求められた場合は、この PIN を入力してください。



4 ユーザー名とパスワード

パスワードポリシーを選択し、注意事項をお読みください。そのあとに、ユーザー名とパスワードを設定して保存してください。

お知らせ

- ユーザー名やパスワードの入力は英語キーボードに切り換えたうえで、半角英数字と記号を使用して入力してください。

【パスワードポリシー】

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウインドウで表示されます。

【ユーザー名入力】

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

【新規パスワード入力】

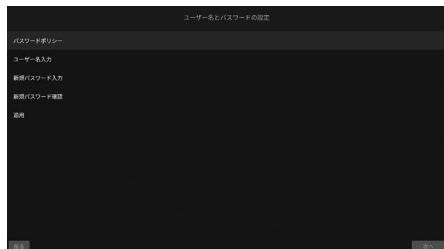
パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力してください。

【新規パスワード確認】

パスワード設定のキーボードが表示されます。再度同じパスワードを入力してください。

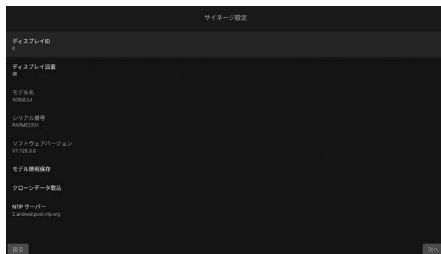
【適用】

上記で設定したユーザー名およびパスワードをディスプレイ本体に保存します。



5 サイネージ設定

[サイネージ設定]メニューが表示されます。[ディスプレイID]、[ディスプレイ設置]、[NTPサーバー]は、このメニューから設定します。[モデル名]、[シリアル番号]、[ソフトウェアバージョン]は情報のみ表示され選択できません。[モデル情報保存]を使用して、本機のモデル情報のデータを接続されたUSBデバイスに保存できます。[クローンデータ取込]を使って、接続されたUSBデバイスから本機にデータベースファイルをコピーできます。設定が完了したら、[次へ]を選択し、<決定>を押してください。

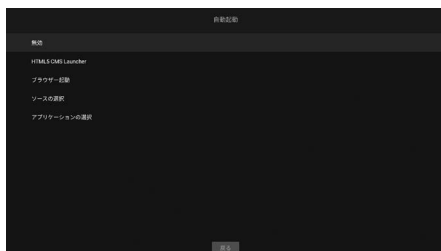


6 自動起動

[自動起動]画面が表示されます。[HTML5 CMS Launcher]、[ブラウザ起動]、[ソースの選択]、[アプリケーションの選択]を設定できます。この機能を使用しない場合は、[無効]を選択してください。起動時の画面を選択し、<決定>を押してください。

お知らせ

- [ソースの選択]および[アプリケーションの選択]では、利用可能なソースまたはアプリケーションを設定する必要があります。[ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] → [自動起動]にて、あとから設定を変更できます。([P.47](#) ページ)

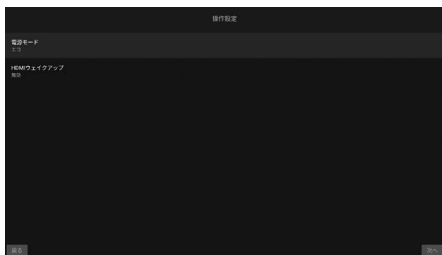


7 操作設定

[操作設定]メニューが表示されます。[電源モード]を[エコ]に設定すると通常どおり電源オンします。[リアクティブ]に設定すると電源「入」時に素早く電源オンします。[HDMI ウェイクアップ]を[5V]に設定した場合、HDMI 5Vに基づき映像検出されると電源オンし、検出されなくなると電源オフします。設定が完了したら、[次へ]を選択して、<決定>を押してください。

お知らせ

- 本設定が[リアクティブ]の場合、スタンバイ時の消費電力が大きくなります。
- 本設定が[エコ]の場合、スタンバイ時に SERIAL (RS-232C)/LAN コマンドは機能しません。



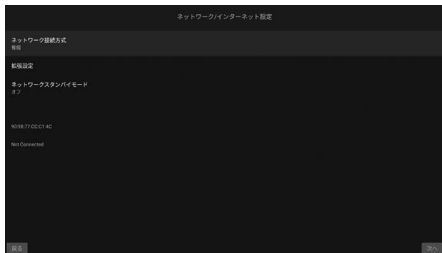
8 ネットワーク/インターネット設定

ネットワークの各種設定メニューが表示されます。設置環境に合わせて設定を行ってください。

[ネットワークスタンバイモード]を[オフ]に設定すると、スタンバイモードでのディスプレイの消費電力を抑えることができます。

有線 LAN を手で設定する場合は、画面上の[拡張設定]などを選択し、<決定>を押して各設定を行ってください。

設定が完了したら、[次へ]を選択して、<決定>を押してください。



お知らせ

- [自動起動]が無効に設定されている場合、初期設定が完了するとホーム画面が表示されます。
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定]で、自動起動設定を変更できます。
- ディスプレイの[工場出荷設定]を使用して、いつでも初期セットアップを繰り返し、本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。
- リモコンのメニューボタンを押すと、[ディスプレイ設定]メニューを表示します。

■ 設定をやり直したいときや、工場出荷時の設定に戻りたいときは

[サイネージ設定]メニューから、[工場出荷設定]を選択し、<決定>を押してください。最初に設定したPINの入力を求められます。正しいPINを入力すると、すべての設定を解除して本機をリセットするかどうか確認するメッセージが表示されます。[続行]を選んで、<決定>を押してください。

お知らせ

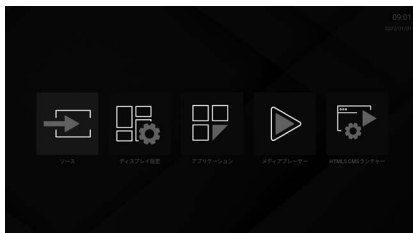
- 初期設定中は電源を切らないでください。
- PIN を忘れたときは、販売店に修理をご依頼ください。
- PIN の初期設定値は [0000] です。

ホーム画面

起動後に、最初にホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 初期設定で自動起動が有効に設定されている場合は、設定された画面がディスプレイに表示されます。
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定]メニューで、自動起動設定を変更できます。



◀▶でアプリケーションを操作できます。ホーム画面に戻るには<クイックメニュー>を押します。前の画面やステップに戻るには<戻る>を押します。

リモコンの<メニュー>を押して、ディスプレイオプションメニューを表示します。

次のアプリケーションがホーム画面で利用できます。

[ソース]	入力一覧を表示します。
[ディスプレイ設定]	ディスプレイ設定メニューを表示します。 (P.40 ページ)
[アプリケーション]	ディスプレイにインストールされているすべてのアプリケーションを表示します。
[メディアプレーヤー]	メディアプレーヤーアプリケーションを起動します。
[HTML5 CMSランチャー]	URL の設定、および設定した URL を表示します。

基本機能の操作

入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

リモコンの<入力切替>を押す



押すごとに入力が切り換わります。

[HDMI 1] ↔ [HDMI 2] ↔ [HDMI 3] ↔ [HDMI 4] ↔ [USB-C] ↔ [DisplayPort] ↔ [SLOT] ↔ [Wireless Display]

[HDMI 1]	HDMI IN 1 端子の HDMI 入力
[HDMI 2]	HDMI IN 2 端子の HDMI 入力
[HDMI 3]	HDMI IN 3 端子の HDMI 入力
[HDMI 4]	HDMI IN 4 端子の HDMI 入力
[USB-C]	USB-C 端子の USB-C 入力
[DisplayPort]	DisplayPort IN 端子の DisplayPort 入力
[SLOT]	ファンクションボードの入力
[Wireless Display]	Wireless Display 入力

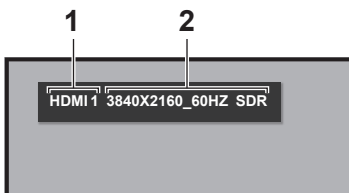
お知らせ

- ホーム画面で [ソース] を選択すると、入力一覧が表示されます。方向ボタンで選択し、<決定> を押して入力を変更します。

入力信号・画質モードなどを知りたいとき

入力信号・画質モードなどの各種状態の確認ができます。

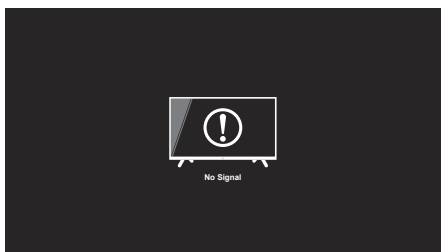
<画面表示> を押す



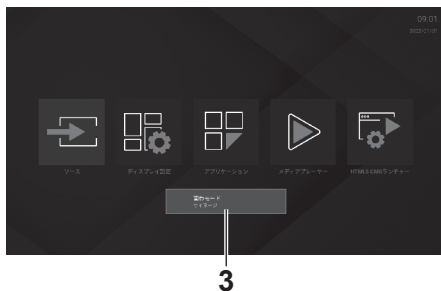
現在の設定内容が表示されます。

- 1 入力信号
- 2 信号情報

無信号の場合は、下記の表示となります。



<画質モード> を押す



3 画質モード

音量を調節する

<音量 +> <音量 -> を押して音量を調整します。



消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

<消音>を押す



映像に合わせた拡大画面にする (画面モード)

<画面モード>を押すことで切り換わります。



[16:9] → [ムービー] → [4:3] → [オート]
→ [リアル] → [フル]

(41 ページ)

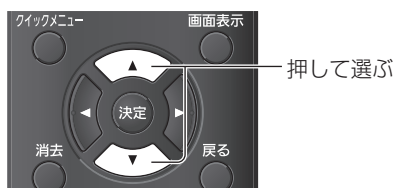
オンスクリーンメニュー について

1 メニュー画面を表示する

リモコンで操作します。



2 設定項目を選択する

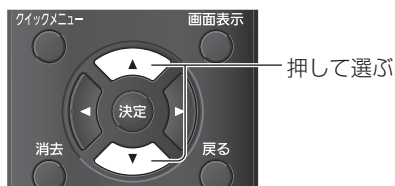


(例：[サイネージ設定]メニュー)



サブメニューを表示する場合、<決定>を押してください。

3 設定する



4 設定を終了する

<戻る>を押すと1つ前の画面に戻ります。
または、<メニュー>を押して設定を終了できます。



メニュー一覧



お知らせ

- 表示するメニューにより、出力中の映像と音声が増止する場合があります。

文字入力について

設定によっては、文字入力が必要です。

画面に表示されたキーボードから文字を選択し、<決定>を押して入力します。



	ひらがなキーボードを表示します。
	英数キーボードを表示します。
	記号キーボードを表示します。
	削除キー、1文字削除します。
	決定キー、現在の内容で決定します。
	空白キー、空白を入力します。

入力を確定するには、右側の（決定キー）を選択し、<決定>を押します。

お知らせ

- [表示言語切替]が[日本語]の場合、日本語キーボードが表示されます。[日本語]以外の場合は英語キーボードが表示されます。
- [表示言語切替]が[日本語]の場合でも、ユーザー名やパスワードなどの情報は英語キーボードに切り換えたうえで、半角英数字と記号を使用して入力してください。
- 入力が確定できない場合は、<戻る>を押すと確定できます。

ディスプレイ設定

1 <メニュー> を押して [ディスプレイ設定] メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

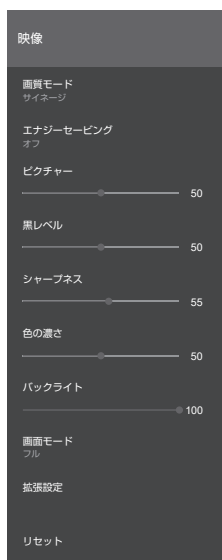
3 ◀▶ で設定する

4 <メニュー> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<戻る> を押す

[映像]



■ [画質モード]

映像や本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。画質モードは次のいずれかに設定できます。

[サイネージ]:

サイネージ用途に適した映像になります。

[ナチュラル]:

色の再現性を重視した自然な色あいの映像になります。

[テキスト]:

テキストを表示するのに適した映像になります。

[ゲーム]:

ゲーム環境に適した映像になります。

[スポーツ]:

スポーツ観賞に適した映像になります。

お知らせ

- HDR 信号入力時はモードが固定され、変更できません。

■ [エナジーセービング]

本機は環境に配慮した設計になっています。本メニューを [エコ] に設定すると、消費電力を調整します。

[オフ]: 消費電力調整機能は動作しません。

[エコ]: 消費電力調整機能が動作します。

お知らせ

- [エコ] に設定されている場合、画質モードの種類によって、選択できる項目が異なる場合があります。

■ [ピクチャー]

画面の明暗度を調整します。

0 ~ 100

■ [黒レベル]

画面の黒レベルの値を調整します。

0 ~ 100

■ [シャープネス]

画面に映し出される映像の輪郭の鮮明度を調整します。

0 ~ 100

■ [色の濃さ]

色の濃さを調整します。

0 ~ 100

■ [バックライト]

バックライトの値を調整します。

0 ~ 100

お知らせ

- [エナジーセービング] が [オフ] に設定されている場合に使用可能です。

■ [画面モード]

映像に合わせて設定します。

[フル]: 映像を画面いっぱいに表示します。

[16:9]: 16:9のサイズで表示します。

[ムービー]: 映画サイズで表示します。

[4:3]: 4:3のサイズで表示します。

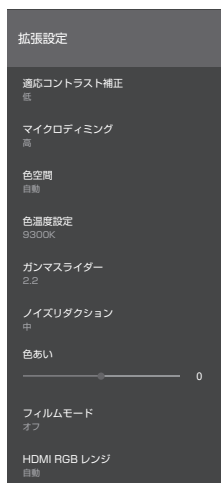
[オート]: 入力信号に合わせて表示します。

[リアル]: 入力信号の解像度のまま表示します。

お知らせ

- [ディスプレイ設置] を [縦 1]、または [縦 2] に設定した場合、以下の動作となります。
 - ・画面中央を基準にしてそれぞれの画面サイズで表示されます。
 - ・[リアル] で画面サイズが小さくなる場合があります。
 - ・USB ストレージデバイスのファイルの再生時など、画面モードを変更できない場合があります。

■ [拡張設定]



[適応コントラスト補正]:

動画など常に変化する映像に対して、色合いの変化を判断してコントラストを自動調整します。

[オフ]、[低]、[中]、[高]

[マイクロディミング]:

マイクロ調光の設定を切り換えます。コントラストを局所的に強調します。

[オフ]、[低]、[中]、[高]

[色空間]:

色空間の設定を切り換えます。

[自動]: 入力信号のカラー空間情報に従って表示します。

[Rgb]: カラー空間を「RGB」として表示します。

[Yuv]: カラー空間を「YUV」として表示します。

[色温度設定]:

画面の色調を調整します。

[10700K]、[9300K]、[6500K]

[ガンマスライダー]:

明暗のバランスを調整します。

1.7 ~ 2.7

[ノイズリダクション]:

映像のノイズ (ざらつき感) を低減します。

[オフ]、[低]、[中]、[高]

[色あい]:

色あいを調整します。

-25 ~ 25

[フィルムモード]:

[自動]にすると、映画等で撮影された動きのある映像が、より自然な再生映像でご覧になれます。

[オフ]、[自動]

お知らせ

- [自動]で不自然な映像になる場合は [オフ] でご覧ください。

[HDMI RGB レンジ]

HDMI 入力の RGB 映像のレンジを調整します。

[自動]:自動で設定します。

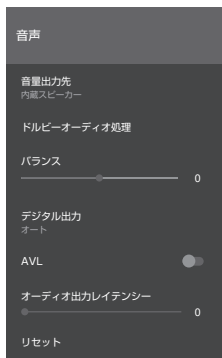
[フル]:入力信号がフルレンジの場合 (0-255)

[制限]:入力信号がビデオレンジの場合 (16-235)

■ [リセット]

映像設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

[音声]



■ [音量出力先]

音声出力を選択します。

[内蔵スピーカー]:

ディスプレイのスピーカー出力

[外部オーディオシステム]:

ARC (Audio Return Channel)

お知らせ

- AUDIO OUT 端子使用時は、常に接続した外部機器から音声が出力されます。
- DIGITAL AUDIO OUT 端子を使用した場合、音量出力先の設定にかかわらず接続機器から音声が出力されます。

■ [ドルビーオーディオ処理]

Dolby Audio 機能の設定をします。

[音声モード]:

音声モードを設定します。

[スマート]、[ミュージック]、[ムービー]、[ニュース]

■ [バランス]

左右のスピーカーからの音量を調整します。

-50 ~ 50

■ [デジタル出力]

デジタル音声出力のタイプを設定します。

[PCM]、[バイパス]、[オート]

お知らせ

- [オート] 選択時は、接続機器により音が出力されないことがあります。その場合は、[PCM]、または [バイパス] に切り換えてご使用ください。

■ [AVL]

音声信号が激しく変化した場合に、スピーカーからの出力を平準化して抑制します。

■ [オーディオ出力レイテンシー]

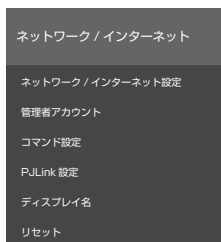
スピーカー、AUDIO OUT、DIGITAL AUDIO OUT からの音声出力の遅延値を調整します。

0 ~ 100

■ [リセット]

設定値を初期化します。

[ネットワーク / インターネット]



■ [ネットワーク / インターネット設定]

[Wi-Fi]:

Wi-Fi の「有効」 / 「無効」を設定します。

[利用可能なネットワーク]:

検出された Wi-Fi アクセスポイントから、接続したいネットワークを選択します。

[新しいネットワークを追加]:

Wi-Fi アクセスポイントへの接続設定を手動で行うことができます。

[ネットワークスタンバイモード] :

ネットワークスタンバイモードの「有効」 / 「無効」を設定します。

[インターネットスピードテスト] :

接続中のネットワークの通信速度のテストを実行します。終了すると、結果が画面に表示されます。

[イーサネット] :

イーサネットの「有効」 / 「無効」を設定します。

[IP 設定] :

イーサネットの接続で使用する IP アドレスを設定します。

■ [管理者アカウント]

管理者アカウントを設定します。

[パスワードポリシー] :

本項目のパスワード設定に関する注意点が表示されます。

[現在ユーザー名] :

現在設定しているユーザー名を入力してください。

[現在パスワード入力] :

現在設定しているパスワードを入力してください。

[新規ユーザー名入力] :

新しく設定するユーザー名を入力してください。

[新規パスワード入力] :

新しく設定するパスワードを入力してください。

[新規パスワード確認] :

新規パスワード入力に入力したパスワードと同じものを入力してください。

[適用] :

上記で設定したユーザー名およびパスワードを適用します。

お知らせ

- ユーザー名やパスワードの入力は英語キーボードに切り換えたうえで、半角英数字と記号を使用して入力してください。

■ [コマンド設定]

[コマンド制御] :

ネットワーク経由でシリアル制御と同じコマンドにより本機を制御する機能の有効 / 無効を設定します。

[オン] : ネットワーク経由のコマンド制御を有効にします。

[オフ] : ネットワーク経由のコマンド制御を無効にします。

[コマンドポート] :

ネットワーク経由でのコマンド制御をするためのポート番号を設定します。

設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。

[コマンドプロテクト] :

コマンド制御を使用する際の接続認証について設定します。

設定を変更する際には、管理者アカウントで設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

[オン] : プロテクトモードで本機に接続します。管理者アカウントのユーザー名とパスワードを使用して接続認証を行います。

[オフ] : 非プロテクトモードで本機に接続します。接続認証を行いません。

お知らせ

- ユーザー名やパスワードの入力は英語キーボードに切り換えたうえで、半角英数字と記号を使用して入力してください。

■ [PJLink 設定]

[PJLink コントロール] :

PJLink での通信を行う場合に設定します。

[オン] : PJLink での制御を有効にします。

[オフ] : PJLink での制御を無効にします。

[PJLink パスワード] :

PJLink のパスワードを設定します。

[PJLink 通知機能] :

PJLink での通知機能を使用する場合に設定します。

[オン] : 通知機能を有効にします。

[オフ] : 通知機能を無効にします。

[通知先 IP アドレス 1/2] :

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレスを設定します。

■ [ディスプレイ名]

ネットワーク上に表示される本機の名称を変更します。

■ [リセット]

[ネットワーク / インターネット] の設定を工場出荷時に戻します。

お知らせ

- [ネットワーク / インターネット] メニュー内の [ネットワーク / インターネット設定] では一部の設定がリセットされません。
- このメニューの項目の詳細は、ネットワーク接続も参照してください。
- 設定を有効にするために、電源の切 / 入が必要な場合があります。

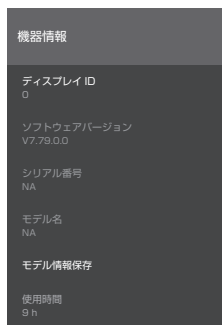
[サイネージ設定]

サイネージの各種設定を行います。



■ [機器情報]

機器の各種情報を設定します。



[ディスプレイ ID] :

本機の ID を設定します。リモコンの数字ボタンを使用して「0」～「99」の値を選択してください。

[ソフトウェアバージョン] :

「ソフトウェアを更新するには」
(84 ページ)

[シリアル番号] :

本機のシリアルナンバーが表示されます。

[モデル名] :

本機の品番が表示されます。

[モデル情報保存] :

本機のモデル情報データを、接続された USB デバイスにコピーします。

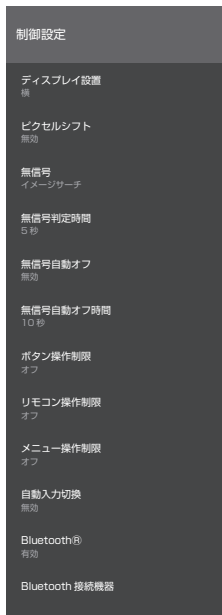
お知らせ

- ファイル名は「シリアル番号.txt」で表示されます。
- モデル情報データはモデル名とソフトウェアのバージョン情報です。
- USB デバイスに保存する前に、USB デバイスを接続したまま電源の切/入が必要な場合があります。

〔使用時間〕：

本機の動作時間を表示します。

■〔制御設定〕



〔ディスプレイ設置〕：

映像、OSD の表示方向を設定します。

〔横〕：

横向きに回転しないで表示します。

〔縦 1〕：

時計方向に 90 度回転し表示します。

〔縦 2〕：

反時計方向に 90 度回転し表示します。

お知らせ

- Wireless Display 入力を選択すると、〔ディスプレイ設置〕は〔横〕に設定されます。

〔ピクセルシフト〕：

液晶パネルに画像が残らないように、表示画像を自動シフトします。〔有効〕に設定すると、一定間隔で画面位置が移動しながら画像を表示します。

〔無信号〕：

現在選択している入力において信号が検出されないときの動作を設定します。

〔イメージサーチ〕：

無信号 OSD を表示します。

〔無信号自動オフ〕がオフの場合、ディスプレイは接続された USB ストレージデバイスのルートフォルダをチェックして、再生可能なファイルを探します。再生可能なファイルがない場合、無信号 OSD が表示されます。

画像登録方法：

次の操作で登録します。

- (1) 1920x1080の任意のPNGファイル「NoSignalImage.png」としてUSBストレージデバイスのルートフォルダに置く
- (2) USBストレージデバイスを本機に接続する
- (3) [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [USB] → [USB操作]を選択し、<決定>を押す

お知らせ

- [ディスプレイ設定] → [システム設定] → [その他]にある[USB 自動再生機能]の設定に関係なく、イメージの再生を行います。
- 画像登録をした「NoSignalImage.png」を削除するには、[工場出荷設定]を実行してください。

〔入力サーチ〕：

本機は利用できるすべての入力において信号を連続して検索します。

ほかに利用できる入力からの信号が検出されない場合、無信号を表す OSD が表示されます。

お知らせ

- [無信号]が[入力サーチ]に設定されているとき、利用できる信号入力が 1 つも選択されていないと本機の電源がオフになります。

〔無効〕：

機能が無効になります。

〔無信号判定時間〕：

本機が無信号状態となるとときに、信号なしと判定する時間を「0 秒」～「60 秒」の間で設定します。設定された時間が経過すると、信号なしと判定されます。〔無信号〕の設定が〔入力サーチ〕に設定されている場合、この項目は使用できません。

[無信号自動オフ]:

[有効]の場合、選択した入力から信号が受信されない状態で、[無信号自動オフ時間]で設定した時間を経過すると、本機の電源が自動的にオフになります。

お知らせ

- この機能は、次の場合に動作します。
 - ・USB デバイスが本機に接続されていない、もしくは USB デバイスが接続されているが再生可能なファイルがインストールされていないとき。
- [無信号]が[入力サーチ]に設定されているときは、この設定を利用できません。

[無信号自動オフ時間]:

[無信号自動オフ]で本機が自動的にオフになる時間を「0秒」～「3600秒」の間で設定します。

お知らせ

- [無信号]が[入力サーチ]に設定されているときは、この設定を利用できません。

[ボタン操作制限]:

本体ボタン(ジョイスティック)の操作を設定します。

[オフ]:操作が有効になります。

[オン]:操作が無効になります。

[リモコン操作制限]:

リモコンのボタンの操作を設定します。

[オフ]:操作が有効になります。

[オン]:リモコンによるメニューの表示、入力の切り換えなどの操作が無効になります。

お知らせ

- 電源ボタン、決定ボタン、カーソルボタン、戻るボタンは[オン]でも使用できます。
- この機能を[オフ]の状態からリモコンを使用できるようにするには、次の操作をしてください。
 - (1) リモコンの<メニュー> → <1> → <9> → <7> → <3>を続けて押す
 - (2) メニューが表示されたら、[サイネージ設定] → [制御設定] → [リモコン操作設定]を[オフ]に設定する

[メニュー操作制限]:

メニュー操作の制限を設定します。

[全メニュー]:リモコンの<メニュー>の操作を禁止します。

[オフ]:操作を制限しません。

お知らせ

- [全メニュー]に設定した状態で、<メニュー>を押すと、初期設定時に定義したPINを入力するように求められます。この機能を無効にするには[オフ]に設定してください。

[自動入力切換]:

HDMI IN 端子(HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI 4)からの入力があった場合に、その入力に自動的に切り換わる機能です。

[無効]:動作を無効にします。

[有効]:動作を有効にします。

お知らせ

- HDMI 入力なくなると、本機は他のアクティブな HDMI 入力に切り換わります。
- 連続して HDMI 入力を切り換えるには約 3 秒の制限があります。最初の HDMI デバイスを接続してから約 3 秒後に 2 番目の HDMI デバイスを接続してください。
- この機能は HDMI IN 端子(HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI 4)のみに有効です。

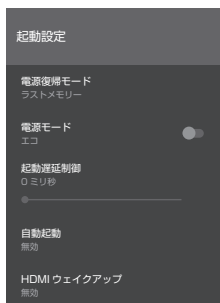
[Bluetooth®]:

Bluetooth® 機能の動作を設定します。この機能を有効にするには、[有効]に設定します。

[Bluetooth 接続機器]

Bluetooth® デバイスの登録、削除、名称変更を行います。

■ [起動設定]



[電源復帰モード]:

電源が瞬断したあと、再度電源が復帰したときの電源状態を設定します。

[オン]: 電源「入」の状態です。

[スタンバイ]: 電源「スタンバイ」の状態です。

[ラストメモリー]: 電源が切れる前の状態で復帰します。

[電源モード]:

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

[エコ]: 電源「入」時に、通常どおり電源オンします。

[リアクティブ]: 電源「入」時に、素早く電源オンします。

お知らせ

- [リアクティブ]の場合、スタンバイ時の消費電力が大きくなります。
- [リアクティブ]の場合、スタンバイ時の状態からRS-232CやLANコマンドを使用して本機を再度オンにすることができます。

[起動遅延制御]:

本機の電源が入るタイミングを遅らせる設定です。

[0ミリ秒] ~ [2000ミリ秒]の範囲で、100ミリ秒ごとに設定可能です。

[自動起動]:

電源「入」時に起動する機能を設定します。

[無効]:

自動起動機能を動作させません。

[HTML5 CMS ランチャー]:

CMS 機能を動作させます。

[ブラウザ起動]:

Vewd Browser を起動します。

[ソースの選択]:

選択した入力画面を表示します。

[アプリケーションの選択]:

選択したアプリケーションを動作させます。

お知らせ

- 本機能を使用する場合、USB 自動再生機能は動作しません。

[HDMI ウェイクアップ]:

[無効]:

本機能は動作しません。

[5V]:

HDMI 入力 (HDMI1-4) で HDMI 5V 信号が検知されると本機がオンになる機能です。

HDMI 5V 信号が検知されると本機能は動作し、検知されなくなると本機はスタンバイとなります。

[有効]:

HDMI 入力 (HDMI1-4) で映像が検知されると本機がオンになる機能です。

映像信号が検知されると本機能は動作し、検知されなくなると本機はスタンバイとなります。

お知らせ

- 本機能を [有効] に設定すると、[起動設定] の [電源モード] が自動的に [リアクティブ] に設定されます。
- 本機能を変更する場合は、スケジュール設定を無効にしてください。
- 本機能を使用する場合は、[自動入力切換] を [無効] に設定してください。
- 次のすべての条件が発生した場合、本機のスタンバイ時に HDMI 入力にケーブルを挿入しても本機は起動しません。
 - ・ [電源モード] が [エコ] に設定されている
 - ・ すでに本機のいずれかの HDMI 入力にケーブルが接続されている

■ [USB]

USB

クローンデータ作成

クローンデータ取込

USB 操作

USB 状態

安全な取り外し

[クローンデータ作成] :

本機の設定を保存したクローンデータを作成し、USB デバイスにコピーします。

- 以下の項目のクローンデータは作成されません。

[映像] → [画面モード]

[映像] → [拡張設定] → [ガンマスライダー]

[サイネージ設定] → [起動設定] →

[起動遅延制御]

[システム設定] → [日付 / 時刻] →

[タイムゾーンの設定]

[タイムゾーンの設定] のクローンデータにおいて、同じタイムゾーンに複数の地域が存在する場合、正しく保存されない場合があります。

[クローンデータ取込] :

USB デバイスにコピーされたクローンデータを、本機にコピーします。

- クローンデータのファイルが表示されます。本機にコピーするファイルを選択し、< 決定 > を押して転送を開始します。

お知らせ

- クローンデータを作成したディスプレイとクローンデータを取り込むディスプレイは、同じソフトウェアバージョンにしてください。
- [クローンデータ取込] を使用した場合は、一度本機の電源を切ってから電源を入れ直してください。

[USB 操作] :

[USB 操作] を選択し、< 決定 > を押すと、USB 操作を開始します。

この機能は次の場合に使用します。

[ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [制御設定] → [無信号]

[USB 状態] :

< 決定 > を押すと、[USB 状態] 画面が開きます。

[全容量] :

接続した USB デバイスの全容量を表示します。

[空き容量] :

接続した USB デバイスの空き容量を表示します。

[フォーマット] :

接続した USB デバイスをフォーマットできます。(FAT32 フォーマットのみ)

[安全な取り外し] :

本機に接続された USB デバイスを安全に取り外します。[安全な取り外し] を選んで < 決定 > を押してください。

[OK] を選択し、< 決定 > を押してしばらくしてから、USB デバイスを取り外してください。

[安全な取り外し] をせずに、本機から USB デバイスを取り外した場合、他の機器に USB デバイス接続するときに問題が発生し、USB デバイスのフォーマットが必要になることがあります。

■ [SLOT 設定]

SLOT の設定ができます。

お知らせ

- サポートされていない SLOT の使用時や、本機に SLOT が接続されていない場合、この設定は使用できません。



[SLOT 状態] :

SLOT モジュールの「オフ」か「オン」を表示します。

[SLOT Power] :

SLOT 電源を「オン」または「オフ」にします。

[Power Down] :

SLOT の電源を強制的に「オフ」にします。

[起動信号設定] :

PS-ON 信号の送信の「無効」または「有効」を設定します。本機は起動時に SLOT の状態信号をチェックし、SLOT がオフの場合は PS-ON 信号を送信して、SLOT をオンにします。

お知らせ

- 一部の SLOT は本機の起動中に SLOT の状態に関する誤った情報を送信するため、オフになっているにもかかわらずオンになっているように動作します。このような非標準の SLOT の場合は、本メニューを「有効」に設定してください。この場合、起動時に受信した状態情報に関係なく、PS-ON 信号が SLOT に送信されます。

[復帰モード] :

この機能が [有効] で SLOT がオンの場合、次のように動作します。

- 10 秒間映像信号がない場合は、ホットプラグがリセットされます。
- 30 秒後に利用可能な映像信号がない場合は、SLOT を再起動します。

[常時電源オンモード] :

この機能が「有効」の場合、リモコンなどで電源オフにした場合でも SLOT に電源を供給します。

お知らせ

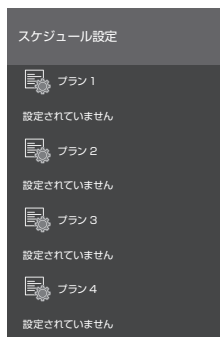
- この機能を有効にすると、[ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] → [電源モード] が [リアクティブ] になります。
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] → [電源モード] を [エコ] にすると、この機能も [無効] になります。

[電源オフモード] :

この機能を [ノーマル] にすると、ディスプレイの電源をオフにするときに SLOT の電源も自動的にオフにします。[強制] にすると、SLOT の電源を強制的にオフにします。

■ [スケジュール設定]

時刻と入力信号を指定して、本機の電源をオン / オフのスケジュールを設定できます。最大 4 つの異なるプランを設定できます。



[電源オン時間の設定] :

電源オンする時間を設定します。

[電源オフ時間の設定] :

電源オフする時間を設定します。

[曜日の選択] :

曜日を設定します。
希望する曜日をチェックします。

[ソースの選択] :

入力信号を設定します。

お知らせ

- [ラスト入力] に設定されている場合、電源オン時に入力信号は変更されません。
- [USB] に設定されている場合、接続された USB デバイスのメディアファイルが自動的に再生されます。

[アプリケーションの選択] :

アプリケーションを設定します。

[バックライト] :

この機能を有効にすると、「バックライトの設定変更」動作となり、設定した時刻になると [バックライト] の設定を変更します。

[バックライト] のチェックボックスを有効にすると、[電源オン時間の設定]、[電源オフ時間の設定] の設定が無効になります。

[電源オン時のバックライト値] :

オン時刻にバックライトを指定の値に変更します。

[電源オフ時のバックライト値] :

オフ時刻にバックライトを指定の値に変更します。

お知らせ

- この機能の設定だけでは、電源オン、電源オフ動作は行いません。
- [ソースの選択] が [ラスト入力] に設定されている場合、バックライトの設定は適用されません。それ以外の設定の場合、バックライトの設定は選択した入力信号に適用されます。

[保存] :

プランを保存します。

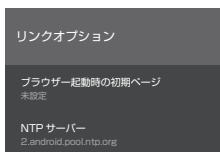
[設定を有効にする] :

プランの有効 / 無効を設定します。

[リセット] :

プランの内容をリセットします。

■ [リンクオプション]



[ブラウザー起動時の初期ページ] :

ブラウザ起動時に表示するページを設定します。

[NTP サーバー] :

NTP サーバーを設定します。

■ [音量設定]



[音量制限] :

内蔵スピーカーの最大音量を設定します。設定した音量以上にはなりません。

1 ~ 100

[音量制限 (出力)] :

AUDIO OUT 端子使用時の最大音量を設定します。

設定した音量以上にはなりません。

1 ~ 100

[スタート音量設定機能] :

電源「入」時の音量設定を切り換えます。

「オフ」: 電源「切」前の状態の音量になります。

「オン」: [スタート音量設定値] で設定した音量になります。

[スタート音量設定値] :

スタート音量設定機能が有効なときの内蔵スピーカーの音量を設定します。

1 ~ 100

[固定音量設定機能] :

固定音量設定機能の有効 / 無効を切り換えます。

「オフ」: 音量を変更できません。

「オン」: [固定音量設定値] で設定した音量に固定されます。

[固定音量設定値] :

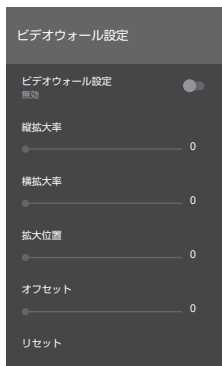
固定音量設定機能が有効なときの音量を設定します。

1 ~ 100

お知らせ

- [音量制限]/[音量制限(出力)]/[固定音量設定値]は、自動的に現在音量に反映されません。
音量が現在の値と異なる場合は、次の操作を行ってください。
 - ・ [音量制限]/[音量制限(出力)] :
音量キーを押してください。
 - ・ [固定音量設定値] :
左右キーで設定値を変更してください。

■ [ビデオウォール設定]



[ビデオウォール設定] :

[無効]/[有効]を設定します。

[縦拡大率] :

縦方向の拡大率を設定します。[0] ~ [10]の間で設定できます。

[横拡大率] :

横方向の拡大率を設定します。[0] ~ [10]の間で設定できます。

[拡大位置] :

拡大した画面の表示する位置を設定します。
[0]に設定すると、ビデオウォール機能は、無効として動作します。

[オフセット] :

セット間のベゼルの厚さに応じて、目地部分に隠れる映像の領域を調整します。
[0] ~ [50]の間で設定できます。

[リセット] :

ビデオウォール設定をリセットします。

(例) :

ビデオウォールが2x3で設置されている場合、
[縦拡大率]を[2]に設定し、[横拡大率]を[3]に設定します。
[ビデオウォール設定]の[拡大位置]は、以下に示すように決定されます。
下記の番号1のディスプレイと同じ位置に設定する場合は、[拡大位置]を[1]に設定します。

1	2	3
4	5	6

お知らせ

- メニューやアプリケーションなど、拡大表示できない場合があります。

■ [デフォルト値設定]

[サインページ設定]メニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ [工場出荷設定]

本機のデータを工場出荷時の状態に戻します。

[システム設定]

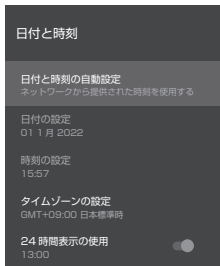


■ [表示言語切換]

OSDの表示言語を設定します。

■ [日付と時刻]

ディスプレイの日付と時刻のオプションを設定します。



[日付と時刻の自動設定]：

ネットワーク経由で時刻と日付のデータを自動的に更新するようにディスプレイを設定できます。

日付と時刻を手動で設定する場合は、このオプションをオフに設定してください。

お知らせ

- この機能をオフにした場合、設定した時刻に誤差が生じる場合がありますので、正確な時刻で運用する場合はこの機能をオンにして使用してください。

[日付の設定]：

日付を手動で設定します。

[時刻の設定]：

時刻を手動で設定します。

[タイムゾーンの設定]：

タイムゾーンを設定します。

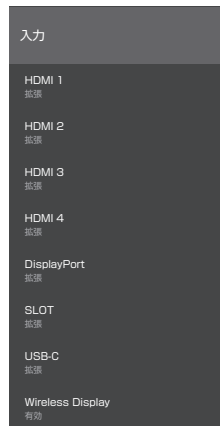
[24時間表示の使用]：

ローカルの既定の時間形式を使用する場合は、オンに設定します。時間形式を手動で設定する場合は、オフに設定します。

お知らせ

- 設定した日付が2010年以前の表示になった場合は、ディスプレイに内蔵されているバッテリーの容量が減少している可能性があります。この場合は、販売店にご連絡ください。

■ [入力]



入力ごとに有効 / 無効を設定します。

Wireless Display 以外の入力については、[有効]、[拡張]、[無効]を選択できます。

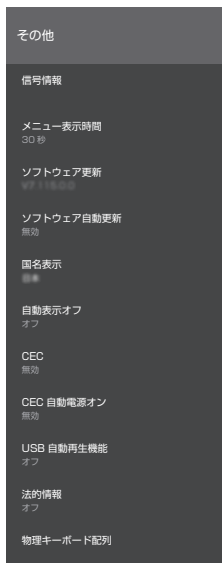
[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、[HDMI 4]、[DisplayPort]、[USB-C] は、[無効]のみ個別に選択できます。

[HDMI 1]、[DisplayPort] は、[有効]/[拡張]が共通の設定です。[HDMI 2]、[HDMI 3]、[HDMI 4]、[USB-C] は、[有効]/[拡張]が共通の設定です。

お知らせ

- 接続された機器が HDMI2.0 互換である場合、4K 画像を視聴できるようにするには、[拡張]に設定してください。
接続されている機器が HDMI1.4 互換の場合は、[有効]に設定します。

■ [その他]



[信号情報]：

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

表示内容：

- [水平周波数]
- [垂直周波数]
- [ドットクロック周波数]
- [信号フォーマット]
- [HDCP ステータス]

お知らせ


- 入力が無信号の状態でもメニューを表示した場合、不正規な値が表示されることがあります。
- HDMI1 入力は、HDCP ステータスが表示されません。

[メニュー表示時間]：

メニュー画面のタイムアウト時間を変更します。

[オフ]、[15秒]、[30秒]、[45秒]、[60秒]

[ソフトウェア更新]：

「ソフトウェアを更新するには」
( 84 ページ)

[ソフトウェア自動更新]：

本モデルでは動作しません。

お知らせ

- ソフトウェアの更新は [ソフトウェア更新] から手動で実施してください。

[国名表示]：

設定されている国名を表示します。

[自動表示オフ]：

本機が操作されていないときに自動的にスタンバイモードになる時間を設定します。

[オフ]、1 時間～8 時間

[CEC]：

機能有効時、接続された HDMI 入力が選択されると、自動的に本機のリモコンで CEC 互換デバイスの主な機能を実行できるようになります。

リモコンでディスプレイを制御するには、リモコンの「0」ボタンを3秒間押し続けます。再度「0」ボタンを長押しすると、CEC 互換デバイスの制御に戻ります。

[無効]、[有効]

[CEC 自動電源オン]：

接続された CEC 互換デバイスをオンにする と本機を電源オンにし、自動的に入力を切り換えます。

[無効]、[有効]

お知らせ

- ディスプレイや映像機器が起動中などの状態により、機器連動しない場合があります。
- すべての CEC 適合デバイスがこのディスプレイで使用できるわけではありません。

[USB 自動再生機能]：

USB ストレージデバイスのルートディレクトリにあるメディアコンテンツの再生を自動的に開始するように設定します。

[オフ]、[オン]

お知らせ

- 本機能で再生可能なファイルサイズは、3840x2160 までとなります。

[法的情報]：

オープンソースライセンス、およびシステムの WebView ライセンス文を表示します。

[物理キーボード配列]：

本機に接続された USB キーボードの設定を行います。

ネットワーク接続

コマンド制御

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 26 ページ)

LAN 経由の制御コマンドについて

■ プロテクトモードで接続する場合

接続方法

[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [コマンド設定] → [コマンドプロテクト] を「オン」に設定している場合の接続方法です。

1 ディスプレイの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス :
[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [ネットワーク/インターネット設定] → [利用可能なネットワーク] の接続したアクセスポイント、または [イーサネット] の下部に表示される接続状態
- ポート番号 :
[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [コマンド設定] → [コマンドポート]

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
[NTCONTROL] (ASCII 文字列)	[「] 0x20	[「] 0x31	[「] 0x20	[zzzzzzzz] (ASCII コード 16 進数)	(CR) 0x0d
9 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

[xxxxxx:yyyyy:zzzzzzz]

xxxxxx : [管理者アカウント] で設定したユーザー名

yyyyy : 上記 [管理者アカウント] で設定したパスワード

zzzzzzz : 手順 2 で取得した 8 バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー			データ部	終端記号
ハッシュ値 (「接続方法」 参照)	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
32 バイト	1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2"	パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
4 バイト		1 バイト

■非プロテクトモードで接続する場合

接続方法

[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [コマンド設定] → [コマンドプロテクト]を「オフ」に設定している場合の接続方法です。

1 ディスプレイのIPアドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

IPアドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IPアドレス：
[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [ネットワーク/インターネット設定] → [利用可能なネットワーク]の接続したアクセスポイント、または[イーサネット]の下部に表示される接続状態
- ポート番号：
[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] → [コマンド設定] → [コマンドポート]

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
[「NTCONTROL」(ASCII文字列)]	[「」 0x20]	[「O」 0x30]	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)	(CR) 0x0d
1バイト	1バイト	不定長	1バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)	(CR) 0x0d
1バイト	1バイト	不定長	1バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" 誤ったデータの長さ	
"ERRA" パスワード不一致	
4バイト	1バイト

お知らせ

- いくつかのコマンドでは、受信データに送信データの文字列の一部が含まれないものがあります。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は、PJLink クラス 1 およびクラス 2 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは、下表のとおりです。

クラス	コマンド	制御内容
1	POWR	電源制御 0：スタンバイ 1：電源「入」
1	POWR?	電源状態問い合わせ 0：スタンバイ 1：電源「入」
1, 2	INPT	入力切り換え * コマンド INST? のパラメーターを参照。
1, 2	INPT?	入力切り換え問い合わせ * コマンド INST? のパラメーターを参照。
1	AVMT	シャッター制御 10：映像オン (映像ミュート解除) 11：映像オフ (映像ミュート) 20：音声オン (音声ミュート解除) 21：音声オフ (音声ミュート) 30：シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31：シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)

クラス	コマンド	制御内容
1	AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11：映像オフ (映像ミュート) 21：音声オフ (音声ミュート) 30：シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31：シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目：0 2 バイト目：0 3 バイト目：0 4 バイト目：0 5 バイト目：0 6 バイト目： その他のエラーを意味し、0 または2のいずれか ・0、2の各意味は以下のとおり 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー
1, 2	INST?	入力切り換え一覧問い合わせ 31：HDMI 1 入力 (HDMI1) 32：HDMI 2 入力 (HDMI2) 33：HDMI 3 入力 (HDMI3) 34：HDMI 4 入力 (HDMI4) 35：USB-C 入力 (USB-C) 36：DisplayPort IN 入力 (DisplayPort) 37：SLOT 入力 (SLOT) 51：Wireless Display (Wireless Display)
1	NAME?	ディスプレイ名問い合わせ ネットワークのディスプレイ名 の内容を応答します。
1	INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
1	INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
1	INF2?	機種名問い合わせ "55SQE2J" と応答します。 (55V 型 SQE2 の場合)
1	CLSS?	クラス情報問い合わせ "2" と応答します。
2	SNUM?	シリアル番号問い合わせ シリアル番号を応答します。
2	SVER?	ソフトウェアバージョン問い合わせ バージョン番号を応答します。

クラス	コマンド	制御内容
2	INNM?	入力端子名称問い合わせ 入力端子名称を応答します。 31：HDMI1 32：HDMI2 33：HDMI3 34：HDMI4 35：USB-C 36：DisplayPort 37：SLOT 入力 (SLOT) 51：Wireless Display
2	IRES?	入力信号解像度問い合わせ 入力信号解像度を応答します。
2	RRES?	推奨解像度問い合わせ "3840x2160" と応答します。
2	FREZ	フリーズ (映像静止) 制御 0：フリーズ (映像静止) 解除 1：フリーズ (映像静止)
2	FREZ?	フリーズ (映像静止) 制御問い合わせ 0：フリーズ (映像静止) 解除 1：フリーズ (映像静止) 中
2	SVOL	スピーカー音量 0：音を小さくします。 1：音を大きくします。
2	SRCH	ディスプレイ検索 同一ネットワーク内に接続され ている、PJLink の通信が可能 な機器が、その MAC アドレス を応答します。

PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、[ディスプレイ設定] → [ネットワーク / インターネット] → [PJLink 設定] → [PJLink パスワード] で設定してください。

認証なしで使用する場合は、PJLink のパスワードをなしに設定してください。

- PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）に対して、監視および制御を行ったり、機材の異常発生の予兆を検知する予兆監視を行うソフトウェア「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software) に対応しています。

予兆監視機能については、ライセンスの種類によって監視できる機材の登録台数が異なります。コンピューターへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台の機材を登録してご使用いただけます。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>
- 予兆監視機能については下記の WEB サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>

ネットワークスタンバイモード

Wake-on-Wireless LAN (WoWLAN) は、ネットワークメッセージ（マジックパケット）を使って、デバイスの電源をオンにしたり、起動したりできるようにする技術です。このメッセージは、スマートフォンなど、同じローカルエリアネットワークに接続されたリモートデバイスで実行されるプログラムによってデバイスに送信されます。

本機は WoWLAN に互換性があります。この機能を有効にするには、[ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] の [ネットワークスタンバイモード] を「オン」に設定し、[サイネージ設定] → [起動設定] の [電源モード] を [エコ] に設定します。

ネットワークメッセージを本機に送信するデバイスと本機の両方が同じネットワークに接続されている必要があります。すべてのデバイスは、アクセスポイントからマジックパケットを送信するデバイス、およびマジックパケットを受信して起動するデバイスまで、システム上でマジックパケットをサポートしている必要があります。

マジックパケットを送信するために、デバイスのオペレーティングシステムで利用できる Wake-on-Wireless LAN ソフトウェアを使用できます。

機能を制御させるには

- [ディスプレイ設定] → [ネットワーク/インターネット] で [ネットワークスタンバイモード] を「オン」にします。
- 本機と、マジックパケットを本機に送信するリモートデバイスを、同じネットワークに接続します。
- マジックパケットを送信するために必要な本機の MAC アドレスを取得します。
- 本機をスタンバイモードにします。
- 携帯電話、Linux または Windows パソコンで、本機の MAC アドレスにマジックパケットを送信します。

マジックパケットを受信すると、本機は起動します。

アプリケーション

ホーム画面から本機にインストールされているアプリケーションにアクセスできます。選択し、**< 決定 >** を押して起動します。

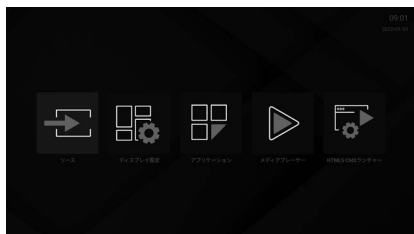
下記のアプリケーションについては、アプリケーション内からアクセスできます。

ファイルマネージャー、システムアップデート、アプリインストーラー、Vewd Browser

また、アプリケーションを選択し、**< 決定 >** を長押しすることで、アプリケーション情報の確認やアプリケーションの削除ができます。

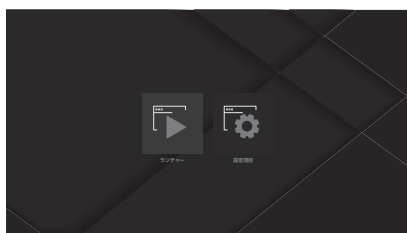
お知らせ

- プリインストールされているアプリケーションは削除できません。



[HTML5 CMS ランチャー]

HTML5 CMS ランチャーは、HTML5 ベースの CMS アプリケーションです。[ランチャー]で指定の URL が実行でき、[設定項目]で URL の設定 / 解除ができます。



■ [ランチャー]

[設定項目] で設定された URL を開くことができます。

以下の手順で実行します。

- 1 ホーム画面で [HTML5 CMS ランチャー] を選択して、**< 決定 >** を押す
- 2 [ランチャー] を選択して、**< 決定 >** を押す

[設定項目] で設定された URL の Web サイトが表示されます。

設定方法については、[設定項目] を参照してください。

■ [設定項目]

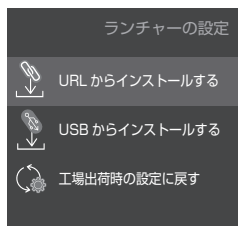
[ランチャー] の起動時に表示される Web サイトの URL の設定 / 解除ができます。

以下の手順で実行します。

- 1 ホーム画面で [HTML5 CMS ランチャー] を選択して、**< 決定 >** を押す
- 2 [設定項目] を選択して、**< 決定 >** を押す

以下の 2 つの項目から URL を設定できます。

- [URL からインストールする]
- [USB からインストールする]



[URL からインストールする]

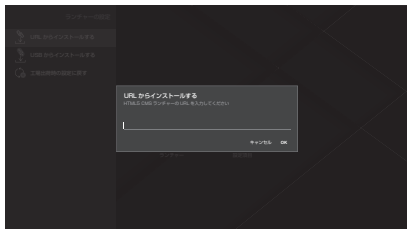
本機を操作して URL を設定します。

以下の手順で実行します。

- 1 ホーム画面で [HTML5 CMS ランチャー] を選択して、**< 決定 >** を押す
- 2 [設定項目] を選択して、**< 決定 >** を押す

3 [URL からインストールする] を選択して、< 決定 > を押す

URL の設定画面が表示されます。



4 URL をソフトウェアキーボードで入力する

次の 2 つの方法で入力できます。

- http://< ドメイン名 > のような一般的な URL
- HTML5 CMS コンテンツを含む、
http://< ドメイン名 >/cms.zip のような URL
ZIP コンテンツには、デフォルトページの「index.html」ファイルが含まれている必要があります。

5 入力後、< 決定 > を押して、URL を設定する

- 手順 4 で一般的な URL が設定されている場合、HTML5 CMS ランチャーは、この URL の Web サイトを表示します。
- 手順 4 で ZIP URL が設定されている場合、zip ファイルがディスプレイの内部ストレージに保存され、CMS コンテンツが抽出されます。HTML5 CMS ランチャーは、ディスプレイの内部ストレージに抽出された CMS コンテンツを表示します。



[USB からインストールする]

ディスプレイに接続された USB ストレージデバイスから URL を設定できます。

以下の手順で実行します。

1 次のファイルのいずれかを USB ストレージデバイスのルートに配置する

両方のファイルが USB ストレージデバイスに配置されている場合、次のリストの最初のファイルが使用されます。

(1-1) 第一優先

「starturl.txt」という名前のファイルを配置します。

このファイルは、次に示す 2 つの形式で startURL (CMS URL) を含めるために必要です。

- http://< ドメイン名 > のような一般的な URL
- HTML5 CMS コンテンツを含む、
http://< ドメイン名 >/cms.zip のような URL
ZIP コンテンツには、デフォルトページの「index.html」ファイルが含まれている必要があります。

(1-2) 第二優先

HTML5 CMS コンテンツを含む「cms.zip」という名前の zip ファイルを配置します。コンテンツには、デフォルトページの「index.html」ファイルが含まれている必要があります。

2 USB ストレージデバイスをディスプレイに接続する

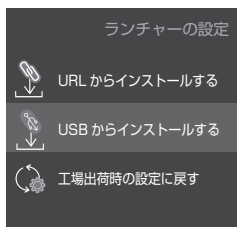
3 ホーム画面で [HTML5 CMS ランチャー] を選択して、< 決定 > を押す

4 [設定項目] を選択して、< 決定 > を押す

5 [USB からインストールする] を選択して、< 決定 > を押す

URL が設定されます。

- 手順 4 で一般的な URL が設定されている場合、HTML5 CMS ランチャーは、この URL の Web サイトを表示します。
- 手順 4 で ZIP URL が設定されている場合、zip ファイルがディスプレイの内部ストレージに保存され、CMS コンテンツが抽出されます。HTML5 CMS ランチャーは、ディスプレイの内部ストレージに抽出された CMS コンテンツを表示します。



[工場出荷時の設定に戻す]

[工場出荷時の設定に戻す]を実行した場合、URLの設定が解除されます。以下の手順で実行します。

1 ホーム画面で [HTML5 CMS ランチャー] を選択して、<決定>を押す

2 [設定項目]を選択して、<決定>を押す

3 [工場出荷時の設定に戻す]を選択して、<決定>を押す

URLの設定が解除されます。



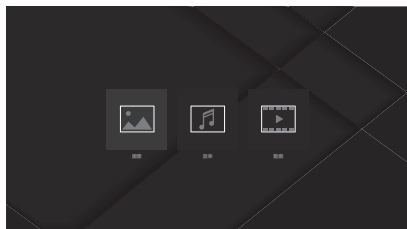
お知らせ

- インターネット上のすべてのサイトをサポートしているわけではありません。
- Web サイトによっては、コンテンツに問題が発生する可能性があります。
- 状況によっては、ビデオコンテンツを再生できないことがあります。

[メディアプレーヤー]

メディアプレーヤーは、静止画、音楽、動画の再生ができます。

メイン画面で [画像]、[音楽]、[動画] を選択し、<決定>を押すと、各項目の起動画面を表示します。



お知らせ

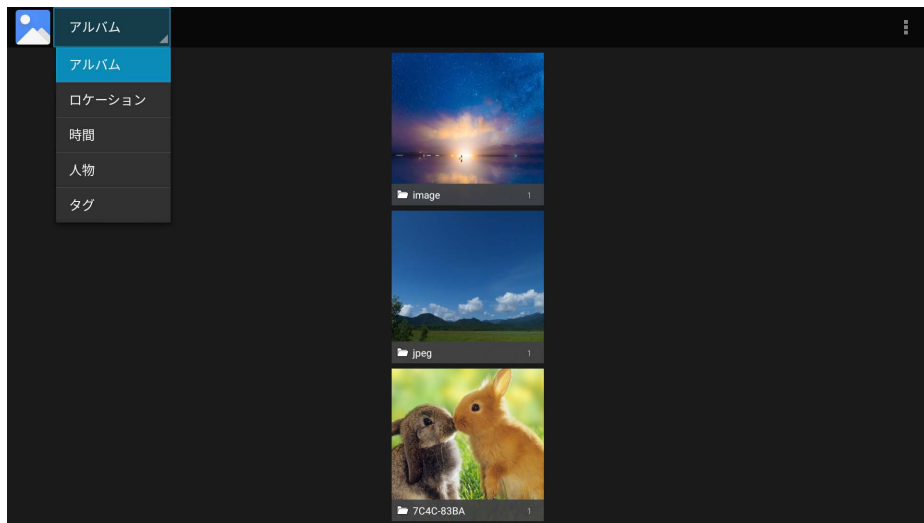
- 他のアプリケーションで USB ストレージデバイスに保存されたファイルの変更、削除などを行った場合、内容が反映されないことがあります。その場合は、USB ストレージデバイスを一度本機から抜いて、再度接続してください。

■ [画像]

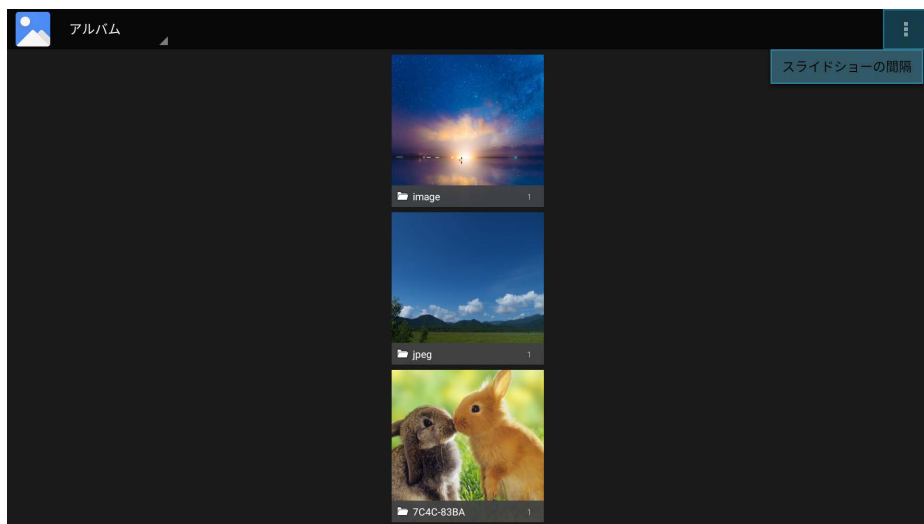
ファイルリストから再生したいファイルを選択し、<決定>を押して静止画ファイルを再生します。

画面の左上と右上にある設定項目で、ファイルの並べ替えやグループ化、表示スタイルの変更、スライドショー再生間隔の設定を行うことができます。

アルバム選択画面

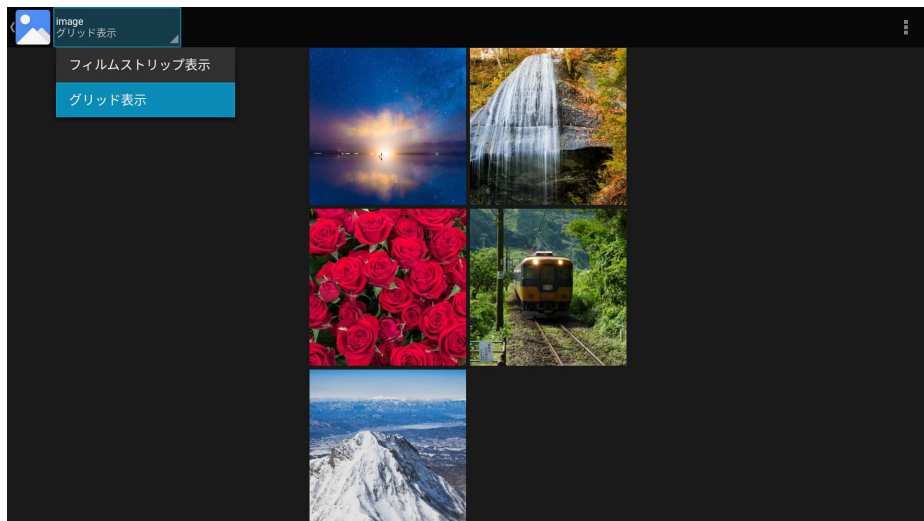


[アルバム]	ファイルリストがアルバム単位の表示になります。
[ロケーション]	ファイルリストが位置情報単位の表示になります。
[時間]	ファイルリストが時間情報単位の表示になります。
[人物]	ファイルリストが人物情報単位の表示になります。
[タグ]	ファイルリストがタグ情報単位の表示になります。

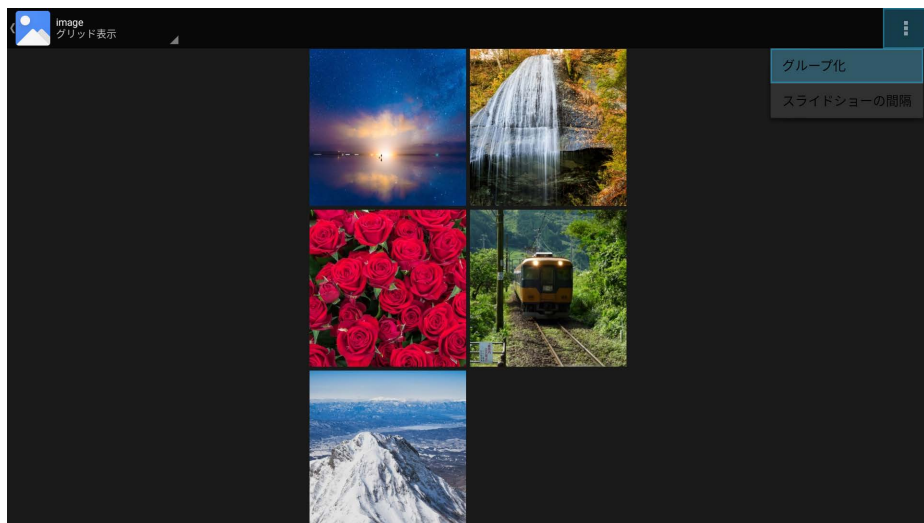


[スライドショーの間隔]	スライドショーで静止画を再生する間隔を設定します。 [5 秒]、[10 秒]、[15 秒]、[20 秒]、[25 秒]、[30 秒]
----------------	---

ファイルリスト画面



[フィルムストリップ表示]	フィルムストリップ表示に切り換えます。◀▶で映像を切り換えます。
[グリッド表示]	グリッド表示に切り換えます。



[グループ化]	[ロケーション]/[時間]/[人物]/[タグ]でグループ化します。
---------	-----------------------------------

お知らせ

- [アルバム]以外のグループを選択している場合、[グループ化]に選択中のグループは表示されません。
- [スライドショーの間隔]はアルバム選択画面の設定と同じです。

スライドショーを開始する

1 ファイルリスト画面で静止画を選択して<決定>を押す

2 <再生>を押す

スライドショーを停止する

1 <停止>を押す

お知らせ

- スライドショーを開始すると、現在のフォルダ内のすべての静止画ファイルが順番に表示されます。最後のファイルを再生した状態で設定した時間が経過すると、先頭のファイルが再生されます。ファイルリスト画面に戻るには<戻る>を押してください。

■ [音楽]

画面上部のタブを選択することで、指定の方式でファイルを並べ替えることができます。

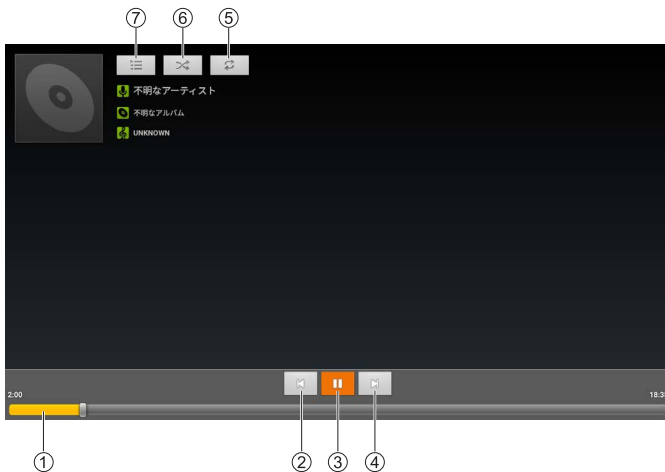
[アーティスト]、[アルバム]、[曲]

ファイルリストから再生したいファイルを選択し、<決定>を押して音楽ファイルを再生します。

再生すると、再生画面が表示されます。

再生中画面のメディアコントロールアイコンを選択して実行すると、再生操作ができます。

再生画面



① シークバー

選択後に◀▶を押し続けると、早送り再生または巻き戻し再生ができます。押す操作をやめると、通常再生に戻ります。

② 前のファイル

選択後に<決定>を押すと、リスト内の前のファイルに切り換わります。

③ 一時停止 / 再生

選択後に<決定>を押すと、再生の一時停止・再開ができます。

⏸ 一時停止 ▶ 再生

④ 次のファイル

選択後に<決定>を押すと、リスト内の次のファイルに切り換わります。

⑤ リピート

リピート設定を切り換えます。



リピート再生オフ



現在のリスト内のすべてのファイルでリピート再生オン



再生中のファイルでリピート再生オン

⑥ シャッフル

シャッフル設定を「オン」または「オフ」にします。

現在のリスト内のすべての音楽ファイルがランダムに再生されます。



オフ



オン

⑦ プレイリスト

現在再生中のプレイリストを表示します。

プレイリストから音楽ファイルを選択して<決定>を押すと、選択した音楽ファイルの再生に切り換わります。

■ [動画]

ストレージは、ディスプレイの内部ストレージか、接続されている USB ストレージデバイスを選択します。

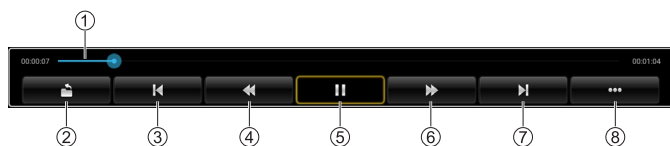
ファイルリストから再生したいファイルを選択し、<決定>を押して動画ファイルを再生します。

動画の再生後、<決定>を押すと情報バーが表示されます。

情報バーのアイコンを選択して<決定>を押すと、再生操作ができます。

情報バーは一定時間経過すると消えますが、再度<決定>を押すと、再び表示されます。

情報バー



① シークバー

再生進行状況を確認できます。

選択後に◀▶を押し続けると、再生開始位置を変更できます。

押す操作をやめた位置から再生を開始します。

② 戻る

選択後に<決定>を押すと、ファイルリストに戻ります。

③ 前のファイル

選択後に<決定>を押すと、リスト内の前のファイルに切り換わります。

④ 早戻し

選択後に<決定>を押すと、早戻しをします。

⑤ 一時停止 / 再生

選択後に<決定>を押すと、再生の一時停止・再開ができます。



一時停止



再生

⑥ 早送り

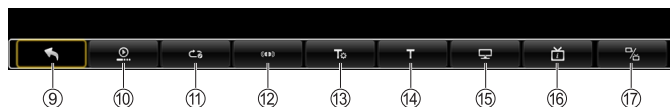
選択後に<決定>を押すと、早送りをします。

⑦ 次のファイル

選択後に<決定>を押すと、リスト内の次のファイルに切り換わります。

⑧ 次ページ

選択後に<決定>を押すと、情報バーを次ページへ切り換えます。



⑨ 前ページ

選択後に<決定>を押すと、情報バーを前ページへ切り換えます。

⑩ [再開モード]

再生停止後の再生方法を切り換えることができます。

- [オン]: 再生停止状態から再生開始する場合、最終の再生停止位置から再生できます。
- [オフ]: 再生停止状態から再生開始する場合、先頭位置から再生します。

⑪ [再生モード]

リピート再生の種類を切り換えることができます。

- [全てリピート]: 現在のリスト内のすべてのファイルのリピート再生をオンにします。
- [この動画をリピート]: 再生中のファイルのリピート再生をオンにします。

⑫ [オーディオ設定]

オーディオの設定ができます。

- [オーディオトラック]: メニュー選択時に再生中の音声フォーマット形式を表示します。
[AAC_LATM]、[MP2]、[MP3]、[WMA]、[etc.]
- [サウンドトラック]: 出力の設定を切り換えることができます。
 - [ステレオ]: 左右音源を各スピーカーから出力します。
 - [左モノラル]: 左音源のみをスピーカーから出力します。
 - [右モノラル]: 右音源のみをスピーカーから出力します。
 - [サウンドミキシング]: 左右音源をミキシングしてスピーカーから出力します。
- [ビデオトラック]: メニュー選択時に再生中の映像フォーマット形式を表示します。
[VFORMAT_MPEG12]

お知らせ

- 一部の機能はサポートしていません。

⑬ [字幕]

選択後に<決定>を押すと、字幕を表示できます。

⑭ [設定_オーディオチューニング]

設定値を変更することができます。

- [cur_value]: -200ms ~ 200ms ([delay range])

⑮ [ディスプレイモード]

アスペクト比を切り換えることができます。

- [Normal]、[フルスクリーン]、[4:3]、[16:9]、[オリジナル]

⑯ [ファイル情報]

動画ファイルの情報を表示します。

- [名前]、[フォーマット]、[サイズ]、[解像度]、[期間]

⑰ [詳細情報]

各モードの設定ができます。

[コーデック切換]： コーデックを切り換えることができます。
[Amlogic プレーヤー]、[OMX]

[ディスプレイ設定]

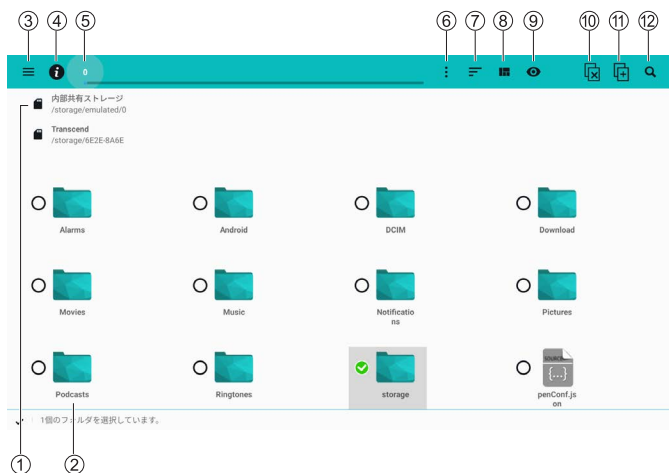
[ディスプレイ設定] を表示します。(☞ 40 ページ)

[ファイルマネージャー]

ファイルマネージャーアプリ画面が表示されます。

内部共有ストレージまたは外部ストレージ（microSD カード、USB メモリー）に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や操作ができます。

■ ファイル一覧画面



① ストレージ選択

表示するストレージを選択します。

ブックマークに追加したフォルダはこちらに表示されます。

② ファイル操作

ファイルを選択すると、そのファイルが表示 / 再生されます。

「../」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダに移動します。

また、ファイル / フォルダを < 決定 > で長押しすると、ファイル操作メニューが表示されます。

③ メニュー

設定メニューが表示されます。

④ ファイルシステム情報

現在のストレージの容量情報が表示されます。

⑤ フォルダ表示 / 移動

現在のフォルダが表示され、選択したフォルダに移動します。

⑥ フォルダ操作

フォルダ操作メニューが表示されます。

⑦ 表示並べ替え

ファイル / フォルダを表示する順序を並べ替えます。

⑧ 表示形式

ファイル / フォルダの表示形式を変更します。

⑨ フォルダを先に表示

有効にすると、フォルダが先に表示されます。

⑩ ファイル / フォルダの選択解除

ファイル / フォルダ選択時のみ表示され、ファイル / フォルダの選択状態を解除します。

⑪ ファイル / フォルダの複製 / 貼り付け

ファイル / フォルダ選択時のみ表示され、選択したファイル / フォルダをコピーします。

貼り付け可能になるとアイコンが変わり、コピー先で再度押しとファイル / フォルダを貼り付けます。

⑫ 検索

現在のフォルダ下でファイル / フォルダの検索を行います。

検索結果は、画面右下のプルダウンより形式を指定して表示できます。

お知らせ

- 初回起動時は、内部共有ストレージ内のファイルが表示されます。

■ ファイル操作メニュー

ファイル選択時



フォルダ選択時



[プロパティ] :

選択したファイル/フォルダの情報および権限情報が表示されます。

[選択 / 選択解除] :

選択したファイル/フォルダを選択状態および選択解除状態にします。

[開く] :

選択したファイルを開きます。ファイル選択時のみ表示されます。

[他のアプリで開く] :

選択したファイルを他のアプリケーションで開きます。ファイル選択時のみ表示されます。

[削除] :

選択したファイル/フォルダを削除します。

[名前の変更] :

選択したファイル/フォルダの名前を変更します。

[コピーを作成] :

現在のフォルダに選択したファイル/フォルダのコピーを作成します。

[送信] :

選択したファイルを Bluetooth® などで送信します。ファイル選択時のみ表示されます。

[印刷] :

選択したファイルを印刷します。ファイル選択時のみ表示されます。

[ブックマークに追加] :

選択したファイル/フォルダのパスをブックマークに追加します。

[ホームとして設定] :

ファイルマネージャー起動時に選択したフォルダが表示されます。フォルダ選択時のみ表示されます。

[USB Safety Remove] :

USB デバイスを安全に取り出します。

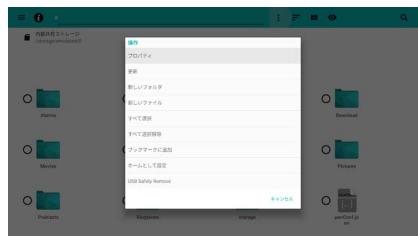
(手順)

[USB Safety Remove] を選択し、< 決定 > を押し、しばらくしてから USB デバイスを取り外します。

お知らせ

- [送信] および [印刷] 機能は本機ではサポートしていません。

■ フォルダ操作メニュー



[プロパティ] :

現在のフォルダの情報および権限が表示されます。

[更新] :

現在のフォルダを最新の状態に更新します。

[新しいフォルダ] :

現在のフォルダに新規フォルダを作成します。

[新しいファイル] :

現在のフォルダに新規ファイルを作成します。

[すべて選択] :

現在のフォルダにあるすべてのファイル/フォルダを選択状態にします。

[すべて選択解除] :

現在のフォルダにあるすべてのファイル/フォルダを選択解除状態にします。

[選択を貼り付け] :

選択状態にあるファイル / フォルダを現在のフォルダにコピーして貼り付けます。選択中のファイル / フォルダがある場合のみ表示されます。

[選択を移動] :

選択状態にあるファイル / フォルダを現在のフォルダに移動します。選択中のファイル / フォルダがある場合のみ表示されます。

[選択を削除] :

選択状態にあるファイル / フォルダを削除します。選択中のファイル / フォルダがある場合のみ表示されます。

[ブックマークに追加] :

現在のフォルダのパスをブックマークに追加します。

[ホームとして設定] :

ファイルマネージャー起動時に現在のフォルダが表示されます。

[USB Safely Remove] :

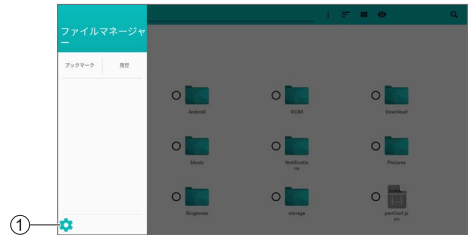
USB デバイスを安全に取り出します。

(手順)

[USB Safely Remove] を選択し、< 決定 > を押し、しばらくしてから USB デバイスを取り外します。

■ 設定メニュー

ブックマークや履歴の表示および削除ができます。画面左下の設定ボタンを選択すると、ファイルマネージャー内の各種設定メニューが表示されます。



① 設定ボタン

[全般設定]



[大文字と小文字を区別] :

検索結果の並べ替えや移動で大文字と小文字を区別します。

[日付と時刻の形式] :

日付と時刻の形式を設定します。

[ディスク使用量の警告] :

ファイルシステム情報に警告表示を行うディスク使用率を設定します。

[フォルダの統計情報を計算] :

有効にすると、フォルダの統計情報の計算を行います。

[プレビュー] :

有効にすると、ファイル一覧画面で各ファイルのアイコンがプレビュー画像になります。(プレビュー表示可能な場合)

[スワイプジェスチャーを使用] :

有効にすると、ファイル / フォルダ上で左から右へスワイプしたときに、そのファイル / フォルダを削除します。

[デバッグ情報のログを記録] :

有効にすると、デバッグ情報のログが記録されます。

お知らせ

- ファイル / フォルダによっては、名前の変更や削除などの操作ができないものがあります。

お知らせ

- [スワイプジェスチャーを使用] 機能は本機ではマウス操作でのみ機能します。

[検索オプション]



[検索語をハイライト表示] :

有効にすると、検索結果表示時に検索語がハイライト表示されます。

[関連度ウィジェットを表示] :

有効にすると、検索結果表示時に検索語との関連度を示すアイコンが表示されます。

(青：高、緑：中、黄：低)

[検索結果の並べ替えモード] :

検索結果を表示する順序を設定します。

[検索語を保存] :

有効にすると、検索語の履歴が保存されます。

[保存されている検索語を削除] :

保存されているすべての検索語を削除します。

お知らせ

- [保存されている検索語を削除] は、[検索語を保存] が有効な場合に選択可能になります。

[エディタオプション]



[エディタオプション] は本機では動作しません。

[システムアップデート]

ネットワーク経由でソフトウェアを更新することができます。(P.84 ページ)

[アプリインストーラー]

新たにアプリケーションをインストールするときに使用します。

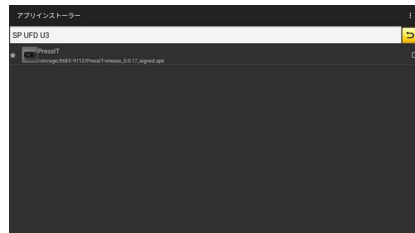


お知らせ

- 外部ストレージが接続されていない場合、[Local Disk] のみの表示となります。

■ 外部ストレージ (USB メモリー) からアプリケーションをインストールする

1 外部ストレージを選び、<決定> を押す
選択した外部ストレージの中からアプリケーションのインストールファイルを検索し、リストに表示します。



2 リスト表示からインストールファイルを選び <決定> を押す

3 [インストール] を選び <決定> を押す
アプリケーションのインストールが開始されます。

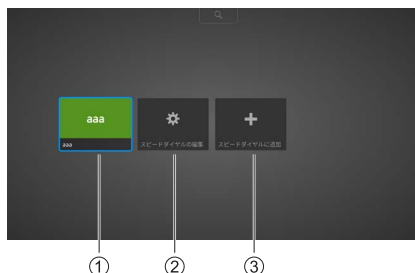
[Vewd Browser]

Web ページを閲覧するときに使用します。
お気に入りの Web ページの保存や整理が可能です。

■スピードダイヤル画面

メニューバー画面の場合は、以下の操作でスピードダイヤル画面に切り換える

- ▼、< 戻る > を押す
- [タブ] → [スピードダイヤル] を選択し、< 決定 > を押す



① スピードダイヤル

追加されたスピードダイヤルのサムネイル画像を表示します。

② [スピードダイヤルの編集]

追加されたスピードダイヤルの移動、編集、削除ができます。

③ [スピードダイヤルに追加]

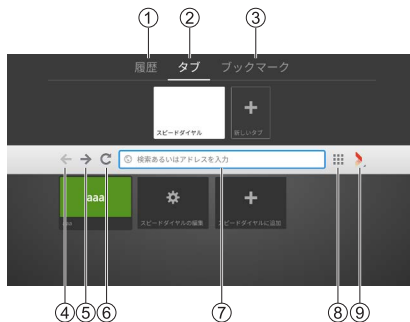
お気に入りの Web ページをスピードダイヤルに追加します。

お知らせ

- スピードダイヤルは複数追加可能です。

■メニューバー画面

スピードダイヤル画面の場合は、▲を押してメニューバー画面に切り換える



① [履歴]

閲覧履歴の管理が可能です。

② [タブ]

タブの管理が可能です。

③ [ブックマーク]

ブックマークの管理が可能です。

④ 戻る

前のページに戻ります。

⑤ 進む

次のページに進みます。

⑥ 更新

ページが更新されます。

⑦ アドレスバー

検索キーワードや URL の入力が可能です。

⑧ スピードダイヤルボタン

スピードダイヤル画面が表示されます。

⑨ Vewd ボタン

各種設定用ダイアログが表示されます。

Web ブラウザーを使用する (アドレスバー)

アドレスバーに検索キーワード、または URL を入力する。

Web ブラウザーを使用する（履歴）

（Web ページを閲覧したことがある場合）

- 1 メニューバー画面で [履歴] を選択する
履歴のサムネール一覧が表示されます。



- 2 閲覧したい Web ページのサムネールを選択する
- 3 <決定> を押す

全画面に Web ページが表示されます。

Web ブラウザーを使用する（ブックマーク）

（Web ページをブックマークしている場合）

- 1 メニューバー画面で [ブックマーク] を選択する
ブックマークのサムネール一覧が表示されます。



- 2 閲覧したい Web ページのサムネールを選択する
- 3 <決定> を押す

全画面に Web ページが表示されます。

Web ブラウザーを使用する（スピードダイヤル）

（スピードダイヤルが1つ以上追加されている場合）

- 1 スピードダイヤル画面で閲覧したい Web ページのサムネールを選択する
- 2 <決定> を押す

全画面に Web ページが表示されます。

スピードダイヤルに Web ページを追加する
（直接入力）

- 1 スピードダイヤル画面で [スピードダイヤルに追加] を選択し、<決定> を押す
[ページをスピードダイヤルに追加] ダイアログが表示されます。

ページをスピードダイヤルに追加

名前	スピードダイヤル
アドレス	

OK キャンセル

- 2 [名前] と [アドレス] を入力する
- 3 [OK] を選択し、<決定> を押す
スピードダイヤル画面にサムネールが追加されます。

スピードダイヤルに Web ページを追加する (現在の Web ページ)

- 1 スピードダイヤルに追加したい Web ページを表示する
- 2 ▲でカーソルを画面上部へ移動させる
メニューバー画面が表示されます。
- 3 Vewd ボタンを選択し、< 決定 > を押す

以下のダイアログが表示されます。



- 4 [スピードダイヤルに追加] を選択し、< 決定 > を押す

現在の Web ページの情報が入力された [ページをスピードダイヤルに追加] ダイアログが表示されます。



- 5 [OK] を選択し、< 決定 > を押す

スピードダイヤル画面にサムネイルが追加されます。

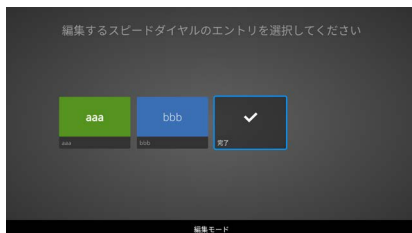
お知らせ

- [現在のタブを閉じる] は、複数のタブがあるときに表示されます。

スピードダイヤルを移動する

(スピードダイヤルが 1 つ以上追加されている場合)

- 1 スピードダイヤル画面で [スピードダイヤルの編集] を選択し、< 決定 > を押す
編集モードに遷移します。



- 2 移動したいサムネイルを選択し、< 決定 > を押す

以下のダイアログが表示されます。

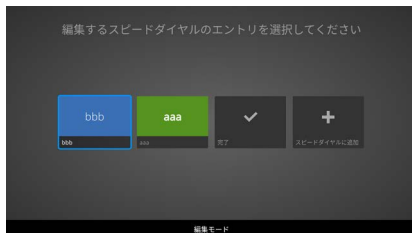


- 3 [移動] を選択し、< 決定 > を押す



- 4 ◀▶ で位置を変更する

- 5 移動が完了したら、< 決定 > を押す



- 6 [完了] を選択し、< 決定 > を押す
編集モードを終了します。

スピードダイヤルを編集する

(スピードダイヤルが1つ以上追加されている場合)

- 1 スピードダイヤル画面で [スピードダイヤルの編集] を選択し、<決定> を押す
編集モードに遷移します。
- 2 編集したいサムネイルを選択し、<決定> を押す
- 3 [編集] を選択し、<決定> を押す
[スピードダイヤルの編集] ダイアログが表示されます。



スピードダイヤルの編集

名前 aaa

アドレス http://aaa/

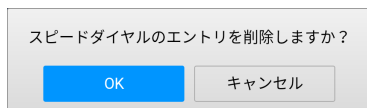
OK キャンセル

- 4 [名前] と [アドレス] を編集する
- 5 編集が完了したら、[OK] を選択し、<決定> を押す
- 6 [完了] を選択し、<決定> を押す
編集モードを終了します。

スピードダイヤルを削除する

(スピードダイヤルが1つ以上追加されている場合)

- 1 スピードダイヤル画面で [スピードダイヤルの編集] を選択し、<決定> を押す
編集モードに遷移します。
- 2 編集したいサムネイルを選択し、<決定> を押す
- 3 [削除] を選択し、<決定> を押す
以下のダイアログが表示されます。



スピードダイヤルのエントリを削除しますか？


OK キャンセル

- 4 [OK] を選択し、<決定> を押す
- 5 [完了] を選択し、<決定> を押す
編集モードを終了します。

履歴を削除する

(Web ページを閲覧したことがある場合)

- 1 メニューバー画面で [履歴] を選択する
履歴のサムネイル一覧が表示されます。
- 2 [履歴を削除] を選択し、<決定> を押す
以下のダイアログが表示されます。



履歴を削除
履歴を削除しますか？

OK キャンセル

- 3 [OK] を選択し、<決定> を押す

お知らせ

- 履歴はすべて削除されます。

新しいタブを作る

- 1 メニューバー画面で [タブ] を選択する



- 2 [新しいタブ] を選択し、<決定> を押す
タブにサムネイルが追加されます。

お知らせ

- アドレスバーへの入力状態となります。

現在のタブを閉じる

(新しいタブが作られている場合)

1 メニューバー画面で [タブ] を選択する



2 [現在のタブを閉じる] を選択し、 <決定> を押す

タブのサムネイルが削除されます。

ブックマークを追加する

1 メニューバー画面で [ブックマーク] を 選択する

2 [ブックマークに追加] を選択し、 <決定> を押す

[ページをブックマークに追加] ダイアログが表示されます。

- Web ページを閲覧していない場合、以下のように入力されています。

ページをブックマークに追加	
名前	スピードダイヤル
アドレス	about:blank
<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

- Web ページを閲覧している場合、閲覧ページの情報が入力されています。

ページをブックマークに追加	
名前	aaa
アドレス	http://aaa/
<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

3 必要であれば、[名前] と [アドレス] を編集する

4 [OK] を選択し、<決定> を押す

ブックマークにサムネイルが追加されます。

ブックマークを削除する

(Web ページをブックマークしている場合)

1 メニューバー画面で [ブックマーク] を 選択する

2 [ブックマークの編集] を選択し、 <決定> を押す

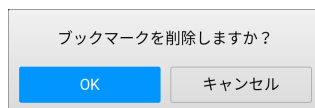
3 削除したいブックマークを選択し、 <決定> を押す

以下のダイアログが表示されます。



4 [OK] を選択し、<決定> を押す

以下のダイアログが表示されます。



5 [OK] を選択し、<決定> を押す

選択されたブックマークが削除されます。

■ Vewd ボタンダイアログ

メニューバーの Vewd ボタンを選択し、
<決定> を押すと表示されます。



[現在のタブを閉じる] :

現在表示しているタブを閉じます。

[スピードダイヤルに追加] :

[ページをスピードダイヤルに追加] ダイアログが表示されます。

[ブックマークに追加] :

[ページをブックマークに追加] ダイアログが表示されます。

[ページの安全性] :

セキュリティ情報が表示されます。

[新しいプライベートタブ] :

履歴、キャッシュ、Cookie のデータを残さずに Web ページの閲覧が可能です。

[設定] :

各種設定用ダイアログが表示されます。

[概要] :

Vewd Browser の概要が表示されます。

[終了] :

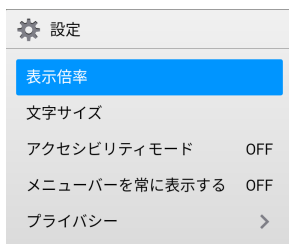
Vewd Browser を終了します。

お知らせ

- [現在のタブを閉じる] は、複数のタブがあるときに表示されます。

■ 設定ダイアログ

Vewd ボタンダイアログで [設定] を選択し、< 決定 > を押すと表示されます。



[表示倍率] :

表示倍率を調整します。

[50%]、[75%]、[100%]、[150%]、
[200%]、[300%]

[文字サイズ] :

文字サイズを調整します。

[標準]、[大]

[アクセシビリティモード] :

[ON] に設定すると、画面の色あいなどを変更してメニュー等の文字が読みやすくなります。(Vewd Browser のみで動作します)

[OFF]、[ON]

[メニューバーを常に表示する] :

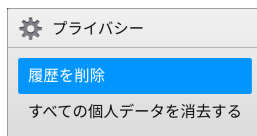
[ON] に設定すると、メニューバーが常に表示されます。

[プライバシー] :

プライバシーに関するデータ削除ダイアログが表示されます。

■ プライバシーダイアログ

設定ダイアログで [プライバシー] を選択し、< 決定 > を押すと表示されます。



[履歴を削除] :

履歴を削除します。

[すべての個人データを消去する] :

下記のデータを消去します。

Cookie、キャッシュ、ブックマーク、
スピードダイヤル、設定、履歴

その他のアプリケーション

機種によってはその他のアプリケーションがあらかじめインストールされている場合があります。詳しい操作方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

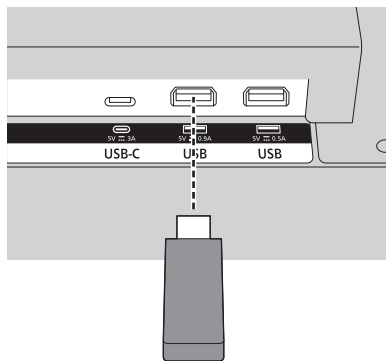
または、以下のサポートサイトをご参照ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>

アプリケーションのインストール

パナソニックが提供するアプリケーションをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 1 拡張子が apk のファイルを FAT フォーマットの USB メモリーにコピーする
- 2 USB メモリーをディスプレイの USB 入力の 1 つに接続する



- 3 ホーム画面のアプリケーションメニューからアプリインストーラーを起動する
- 4 デバイスの選択画面で USB メモリーを選択する
apk ファイルが表示されます。
- 5 インストールする apk ファイルを選択し、**< 決定 >** を押す
アプリケーションのインストールについての画面が表示されます。
インストールを許可する設定にしてください。
- 6 **[インストール]** を選択し、再度 **< 決定 >** を押す
アプリケーションのインストールを開始します。

お知らせ

- サードパーティアプリケーションはサポートされていません。そのため、アプリケーションが適切に起動しない場合や一部の機能が動作しない場合があります。

アプリケーションの削除

インストールしたパナソニック提供のアプリケーションを削除するには、以下の手順に従ってください。

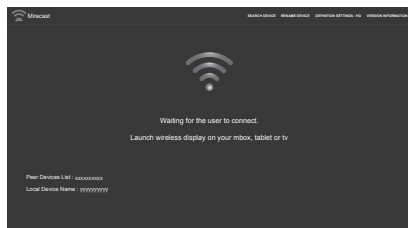
- 1 ホーム画面のアプリケーションメニューから削除するアプリケーションを選択し、**< 決定 >** を長押しする
操作の選択画面が表示されます。
- 2 **[Remove App]** を選択し、**< 決定 >** を押す
アプリケーションの削除確認画面が表示されます。
- 3 **[はい]** を選択し、再度 **< 決定 >** を押す
アプリケーションの削除を開始します。

Wireless Display

Wireless Display は、ビデオや音声コンテンツのストリーミングのための規格です。この機能により、本機を Wireless Display のデバイスとして使用できます。

本機はワイヤレス LAN の dongle を内蔵しています。リモコンの <WIRELESS DISPLAY> を押し、Wireless Display の入力に切り換えます。

本機の接続準備が完了すると、次の画面が表示されます。



モバイルデバイスで共有しているアプリを開いて、デバイスを検索します。

一覧から本機を選択して接続すると、モバイルデバイスの画面が本機に表示されます。

お知らせ

- Wireless Display は、モバイルデバイスがこの機能をサポートしている場合のみ使用できます。
- サポートしている最大解像度は 1920x1080 です。
- 画質は、隣接するワイヤレスネットワークやインターネット接続速度の影響を受けることがあります。
- モバイルデバイスで共有しているアプリは各ブランドで異なります。詳しくはモバイルデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 接続で問題が発生した場合は、使用しているオペレーティングシステムのバージョンがこの機能をサポートしているかどうかを確認してください。本機の製造後にリリースされたオペレーティングシステムのバージョンとの互換性に問題がある可能性があります。
- Wireless Display 機能と本機の無線 LAN 機能を同時に使用することで Wireless Display や無線 LAN の接続が不安定になる場合があります。Wireless Display による接続前に、本機の無線 LAN 機能を無効にするか、またはモバイルデバイスの無線 LAN 通信を切断もしくはデータ通信を最小限にしてください。Wireless Display が開始されない、切断される、投影品質が著しく低下などの症状が発生する場合があります。

[SEARCH DEVICE] :

モバイルデバイスをスキャンします。

[RENAME DEVICE] :

本機の名前を変更します。

[DEFINITION SETTINGS] :

解像度を設定します。(HD、SD)

[VERSION INFORMATION] :

バージョン情報を表示します。

モバイルデバイスの映像 / 音声の出力中に <戻る> を押し、操作画面を表示します。

[Tear Down] :

ディスプレイからモバイルデバイスの接続を切断します。

[Play] :

一時停止中の映像 / 音声を再開します。

[Pause] :

映像 / 音声を一時停止します。(映像は静止状態となります)

USB ストレージデバイス でのメディアの再生

本機の USB 入力を使用して、2.5 インチおよび 3.5 インチ（外部から電源を供給する HDD）の外付けハードディスクドライブまたは USB メモリースティックをディスプレイに接続できます。USB ストレージデバイスを本機に接続した場合、[システム設定] → [その他] → [USB 自動再生機能] がオンで、USB 自動再生が動作します。

お知らせ

- 本機に接続する前に、ストレージデバイスにあるファイルをバックアップしてください。当社はファイルの損傷やデータの損失について責任を負いません。一部の USB デバイス（MP3 プレーヤーなど）、USB ハードディスクドライブ、USB メモリースティックは、本機と互換性がない場合があります。本機は、FAT16/FAT32/exFAT/NTFS のファイルシステムをサポートしています。

Media Player がファイルを読み取っている可能性があるため、少し時間をおいてからプラグを抜き差ししてください。USB デバイスに物理的な損傷を与える可能性があります。

ファイルの再生中は、ドライブを引き出さないでください。

USB ハブを使用できます。この場合、外部電源の USB ハブの使用をお勧めします。

USB ハードディスクを接続する場合は、本機の USB 入力に直接接続することをお勧めします。

USB 自動再生機能

USB 自動再生機能は、USB ストレージデバイスのルートフォルダにある写真とビデオのコンテンツを順番に（ファイル名順に）再生します。この機能は次の条件でのみ動作します。

- USB デバイスが挿入されている
- [ディスプレイ設定] → [システム設定] → [その他] の [USB 自動再生機能] が [オン] になっている。

プレイリストを使った USB 自動再生機能

接続された USB ストレージデバイスにプレイリストファイル（[playlist.txt] という名前のファイル）がインストールされている場合、このファイルに入力された順序に従ってメディアコンテンツが再生 / 表示されます。

- この機能を有効にするには、上記のプレイリストファイルを USB ストレージデバイスにインストールする必要があります。
- プレイリストファイルの内容について
 - 最初の行は「`//**do usb auto play**//`」で始めてください。
 - 表示 / 再生するファイルは、playlist.txt に 1 行ずつ書き込む必要があります。
 - `[/ * */` 表示は、行から外すというコメントを示します。

ファイルの中身のサンプル：

```
//**do usb auto play**//  
picture.jpg  
video.mp4  
picture2.jpg  
/*picture3.jpg*/  
video2.mp4
```

お知らせ

- 自動再生中に <戻る> または <消音> が押されると、自動再生が終了します。
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [起動設定] → [自動起動] が [無効] 以外の場合、USB 自動再生機能は動作しません。

USB でサポートしているメディアフォーマット

動画ファイル

コーデック	動作性能	オーディオコーデック	ファイル形式 (コンテナ)
MPEG-1	1920x1080p @ 60fps	AC3	DAT、MPEG、MPG、TS
MPEG-2	1920x1080p @ 60fps	MP3、PCM	MPEG、MPG、M2V、TS、TP、VOB
MPEG-4 ASP	1920x1080p @ 60fps	MP3、AC-3、AAC、PCM、ADPCM	AVI、MP4、MOV、3GP
MJPEG	1920x1080p @ 30fps	MP3、U-LAW	AVI
XviD	1920x1080p @ 30fps	AC3、MP3	AVI、OGM
H.263	720x576p @ 30fps	MP3、AC-3、AAC、AMR-NB	3GP、3G2、MOV、MP4
H.264	3840x2160 @ 30fps 100Mbps	AAC、AAC-LC、MP3、AC3、PCM、Vorbis、AMR-NB	AVI、MOV、MP4、MKV、TS、M2TS、MTS、M4V、FLV、F4V、PMP
H.265 Main 10	7680x4320 @ 24fps 80Mbps、3840x2160 @ 60fps 80Mbps	AAC、AC3	TS、MP4、MKV
VC-1	1920x1080p @ 25fps	AC3、PCM、DTS	M2TS、MPEG
WMV3	1280x720p @ 30fps	AC3	ASF、MKV
AVS-P16	1920x1080p @ 30fps	-	-
AVS-P2 Jizhun	720x576p @ 30fps	-	TS
AVS2	3840x2160p @ 60fps	-	TS
VP9 Profile-2	7680x4320 @ 24fps VP9 67Mbps、4096x2304p @ 60fps VP9 Profile-2 60Mbps	Vorbis	.webm/.vp9/.ivf
VP8	1920x1080p @ 30fps	Vorbis	.webm/.mkv
AV1	3840x2160p @ 60fps 14.6Mbps	AAC、PCM、AC3	MP4、TS

静止画ファイル

イメージ	フォト	解像度 (横 x 縦)	備考
JPEG	ベースライン	15360x8640	DRAM サイズで、最大解像度の限度が異なります。
	プログレッシブ	1024x768	
PNG	非インターレス	9600x6400	
	インターレス	1200x800	
BMP		9600x6400	
GIF		6400x4800	

音声ファイル

コーデック	チャンネル	ビットレート	サンプリングレート	ファイル形式 (コンテナ)
MPEG 1/2/2.5、 Audio Layer 3	2	8 kbps ~ 320 kbps、 CBR および VBR	8 kHz ~ 48 kHz	MP2/MP3
PCM、IMA-ADPCM、 MS-ADPCM、U-Law	5.1	最大 1.5Mbps	8 kHz ~ 48 kHz	WAV
Vorbis	5.1	-	8 kHz ~ 96 kHz	OGG
Flac	5.1	VBR	8 kHz ~ 96 kHz	FLAC
APE	2	VBR	8 kHz ~ 48 kHz	Ape
AAC-LC、AAC-HE(AAC+)	5.1	VBR	8 kHz ~ 96 kHz	AAC/M4A
PCM/A-LAW	5.1	-	8 kHz ~ 48 kHz	AIF/AIFF/ ALAW
ALAC	2	VBR	8 kHz ~ 48 kHz	alac
WMA Version 7/8/9	5.1	8 kbps ~ 320 kbps、 CBR および VBR	8 kHz ~ 96 kHz	WMA

サブタイトルファイル

フォーマット	ファイル形式 (コンテナ)
SAMI	SMI
Advanced Substation Alpha	ASS / SSA
SubRip	SRT
DVD	SUB
Blue Ray	PGS
Timed text	SBTL
Aqtitle	AQT
Lyric	LRC
MircoDVD	SUB
Mplayer1/2	MPL
Mpsub	SUB
Phoenix Japanimation Society	PJS
subviewer1.0/2.0	SUB
Text	TXT
Vplayer	TXT
Extensible Markup Language	XML
DVB-SUB	DVB
Jacosub	JS

お知らせ

- サポートしているファイルでも、再生できない場合があります。

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

HDMI (HDMI IN 1、2、3、4)/DisplayPort/USB-C 共通

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	プラグアンドプレイ 対応信号 *2	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		拡張	有効
480/60i	720 (1 440) x 480i*1	15.73	59.94	27.00	○	○
576/50i	720 (1 440) x 576i*1	15.63	50.00	27.00	○	○
480/60p	720 x 483	31.47	59.94	27.00	○	○
576/50p	720 x 576	31.25	50.00	27.00	○	○
720/60p	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	○	○
720/50p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	○	○
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.00	74.25	○	○
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.00	74.25	○	○
1080/24p	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25	○	○
1080/25p	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25	○	○
1080/30p	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25	○	○
1080/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	○	○
1080/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.00	148.50	○	○
3840 x 2160/24p	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00	○	○
3840 x 2160/25p	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00	○	○
3840 x 2160/30p	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00	○	○
3840 x 2160/60p	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00	○	
3840 x 2160/50p	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00	○	
4096 x 2160/24p	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00	○	○
4096 x 2160/25p	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00	○	○
4096 x 2160/30p	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00	○	○
4096 x 2160/60p	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00	○	
4096 x 2160/50p	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00	○	
640 x 480/60	640 x 480	31.47	59.94	25.18	○	○
640 x 480/73	640 x 480	37.86	72.81	31.50		
640 x 480/75	640 x 480	37.50	75.00	31.50		
640 x 480/85	640 x 480	43.27	85.01	36.00		
800 x 600/56	800 x 600	35.16	56.25	36.00		
800 x 600/60	800 x 600	37.88	60.32	40.00	○	○
800 x 600/72	800 x 600	48.08	72.19	50.00		
800 x 600/75	800 x 600	46.88	75.00	49.50		
800 x 600/85	800 x 600	53.67	85.06	56.25		
1024 x 768/50	1 024 x 768	39.55	50.00	51.89		
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	○	○
1024 x 768/70	1 024 x 768	56.48	70.07	75.00		
1024 x 768/75	1 024 x 768	60.02	75.03	78.75		
1024 x 768/82	1 024 x 768	65.55	81.63	86.00		
1024 x 768/85	1 024 x 768	68.68	85.00	94.50		
1152 x 864/60	1 152 x 864	53.70	60.00	81.62		
1152 x 864/70	1 152 x 864	63.99	70.02	94.20		
1152 x 864/75	1 152 x 864	67.50	75.00	108.00		
1152 x 864/85	1 152 x 864	77.09	85.00	119.65		
1280 x 720/60	1 280 x 720	44.76	60.00	74.48		

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	プラグアンドプレイ 対応信号 *2	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		拡張	有効
1280 x 768/50	1 280 x 768	39.55	49.94	65.18		
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.70	60.00	80.14		
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.78	59.87	79.50		
1280 x 800/50	1 280 x 800	41.20	50.00	68.56		
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.31	59.91	71.00		
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50		
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00		
1280 x 960/85	1 280 x 960	85.94	85.00	148.50		
1280 x 1024/60	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	○	○
1280 x 1024/75	1 280 x 1 024	79.98	75.02	135.00		
1280 x 1024/85	1 280 x 1 024	91.15	85.02	157.50		
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50		
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.55	50.00	69.92		
1366 x 768/60	1 366 x 768	48.39	60.03	86.71		
1366 x 768/60	1 366 x 768	48.00	60.00	72.00		
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.56	49.89	69.00		
1366 x 768/60	1 366 x 768	47.71	59.79	85.50		
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.22	60.00	122.61		
1400 x 1050/75	1 400 x 1 050	82.20	75.00	155.85		
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.47	59.90	88.75		
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.92	60.00	106.47		
1600 x 900/50	1 600 x 900	46.30	50.00	97.05		
1600 x 900/60	1 600 x 900	60.00	60.00	108.00		
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.99	59.95	118.25		
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.92	60.00	119.00		
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00		
1680 x 1050/60	1 680 x 1 050	65.29	59.95	146.25		
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	66.59	59.93	138.50		
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	○	○
1920 x 1200/60	1 920 x 1 200	74.04	59.95	154.00	○	○

*1 : Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0MHz) のみ

*2 : プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。

プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

お知らせ

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。

ソフトウェアを更新するには

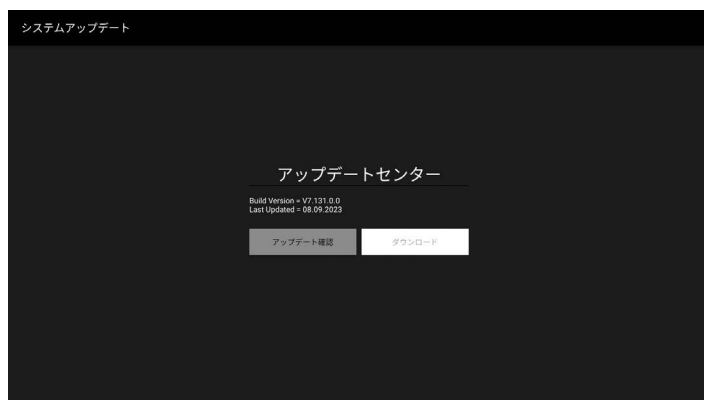
本機は、ネットワーク経由でソフトウェアを更新できます。

お知らせ

- 更新するには、インターネットに接続している必要があります。

1 次のいずれかの方法で、現在のソフトウェアバージョンを表示する

- <クイックメニュー> (ホーム) → [アプリケーション] → [システムアップデート] を選択し、<決定> を押す
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [機器情報] → [ソフトウェアバージョン] を選択し、<決定> を押す
- [ディスプレイ設定] → [サイネージ設定] → [その他] → [ソフトウェア更新] を選択した状態で <決定> を押す



現在のソフトウェアバージョンと最終更新時刻が表示されます。

2 [CHECK UPDATE] が選択された状態で <決定> を押す

更新の手動検索を開始します。

ソフトウェアの更新ファイルがある場合は、画面の指示に従ってソフトウェアのダウンロード、インストールができます。

お知らせ

- [ソフトウェア更新] では現在のソフトの次のバージョンに更新されます。
最新バージョンにするためには何度か [ソフトウェア更新] が必要になる場合があります。

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	20
電源が自動的に切れる	● [サイネージ設定] → [制御設定] → [無信号自動オフ]、[サイネージ設定] → [起動設定] → [HDMI ウェイクアップ] が [5V]、または [システム設定] → [その他] → [無操作自動オフ] が [オフ] 以外に設定されていませんか。	—
電源ランプが赤色点滅して、すぐに消える	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ● 外部 IR 受信機に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ● 外部 IR 受信機とリモコン間に障害物はありませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません) ● [サイネージ設定] → [制御設定] → [リモコン操作制限] を [オン] にしていませんか ● 外部 IR 受信機が本機の IR IN 端子から外れていませんか。(75V 型 / 86V 型 / 98V 型モデル) ● 本体の電源スイッチが「入」になっていますか。 ● [CEC] を [有効] にしており、CEC デバイス側を制御するようになっていませんか。 	— — — — 17 32 53
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● [映像] → [色の濃さ] の調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	40
色模様が出たり色が消える	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の映像機器から影響 (妨害電波) を受けていませんか。本機の設置場所を変えると良化することもあります。 ● [映像] → [画面モード] が [オート] や [ムービー] になっていませんか。 	— 41
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16:9 より横長の映像ソフト (シネマサイズのソフトなど) のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭がチラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● [サイネージ設定] → [制御設定] → [ボタン操作制限] を [オン] にしていませんか。	—
映像、音声が出ないことがある	● HDMI 信号をセレクタや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。本機の電源を入れ直すまたは、セレクタや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
<p>小さな音が大きく聞こえたり、大きな音にリミットが掛かっている。</p> <p>ノイズ音が気になる。</p> <p>音楽を聴くときボーカルと楽器の音量バランスがおかしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [音声] → [AVL] が「オン」に設定されていませんか。 	-
<p>映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。 	20
<p>RS-232C 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 	25
<p>LAN 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● [管理者アカウント] は設定されていますか。 ● コマンドで制御する場合は、[ネットワーク/インターネット] → [コマンド設定] → [コマンド制御] が [オン] になっていますか。 ● [ネットワーク/インターネット設定] は正しく設定されていますか。 	- - - 42
<p>ワイヤレス接続が利用できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の接続を許可しているか、ネットワークのファイアウォールを確認してください。 ● [ネットワーク/インターネット設定] から、ネットワークの接続状態をご確認ください。 ● ワイヤレス接続が正しく機能しない場合は、有線接続を使用してみてください。 	- - -
<p>ワイヤレス接続が遅い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部サービスエリア、接続速度、信号品質、およびその他の設定に関する情報を得るには、ワイヤレスモデムの取扱説明書を参照してください。高速接続対応のモデムが必要です。 	-
<p>ワイヤレス接続で再生中に中断する、反応が遅い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子レンジ、携帯電話、Bluetooth® デバイス、その他の WLAN 互換デバイスから 3 m 以上離してください。WLAN ルーターのアクティブチャンネルを変更してみてください。 	-
<p>ワイヤレス接続でインターネットに接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンまたはモデムの MAC アドレス（ユニークな識別子番号）が永続的に登録されている場合、本機がインターネットに接続されていない可能性があります。この場合には、インターネットに接続するたびに MAC アドレスが認証されます。これは、不正アクセスに対する予防のためです。 本機には独自の MAC アドレスがあるため、インターネットサービスプロバイダーは、本機の MAC アドレスを検証できません。インターネットサービスプロバイダーに連絡して、本機など別のデバイスをインターネットに接続する方法を確認してください。 ● ファイアウォールの問題により、接続が利用できない可能性もあります。これが原因と思われる場合は、インターネットサービスプロバイダーに連絡してください。ファイアウォールが接続の問題の原因である可能性があります。 	- -
<p>勝手に電源が入る 電源が入っても映像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [サイネージ設定] → [起動設定] → [HDMI ウェイクアップ] が [5V] に設定されていると、HDMI のいずれかの端子に 5V 信号が検出されると、本機は起動し、信号を検知した入力に切り換わります。 ● 接続している機器によっては、映像出力がない場合でも 5V 信号を出力します。映像信号が出力されているか確認してください。HDMI の信号で起動させるには、あらかじめ接続機器をオフにしておきます。 	- -
<p>USB 入力からのファイルが再生できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生ファイル仕様を確認してください。 	80

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
パスワード入力画面から他の画面に移動できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェアキーボードを開いている間は、他のメニューにカーソルを移動できません。 <戻る>を押してカーソルを移動し、ソフトウェアキーボードを閉じてください。 	-
USB メモリーを安全に取り外したい	<ul style="list-style-type: none"> ● USB メモリーを取り外す場合は、操作後数秒待ってから取り外してください。 	48 68 69
複数台監視制御ソフトウェアへの機材の登録に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ● 機材の状況により、登録に 20 秒以上かかる場合がありますが、故障ではありません。 	57
USB キーボードで表示された文字が入力できない	<ul style="list-style-type: none"> ● USB キーボードの配列（言語別）は [物理キーボード配列] で変更可能です。 ● キーボードによっては無効となるキー操作があります。 ● 画面にキーボードが表示された状態では、表示された文字のみ入力可能です。 	53 - -

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

85 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

品番	TH-43SQE2J (43V型) ^{*1}	TH-50SQE2J (50V型) ^{*1}	TH-55SQE2J (55V型) ^{*1}	TH-65SQE2J (65V型) ^{*1}
種類	UHD 液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz			
	2.7 A	3.1 A	3.3 A	3.9 A
消費電力	125 W ^{*2}	120 W ^{*2}	135 W ^{*2}	195 W ^{*2}
	本体電源「切」時 約0 W リモコンで電源「切」時 約0.5 W			
音声実用最大出力	16 W (8 W + 8 W) JEITA	20 W (10 W + 10 W) JEITA		
スピーカー	8 W (8 Ω フルレンジ: 10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm) × 2個	10 W (8 Ω フルレンジ: 10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm) × 2個		
液晶ディスプレイパネル	43V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)	50V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)	55V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)	65V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)
	ADS パネル (Direct LED バック ライト)	VA パネル (Direct LED バック ライト)	ADS パネル (Direct LED バックライト)	
画面寸法	幅 941.1 mm	幅 1 095.8 mm	幅 1 209.6 mm	幅 1 428.4 mm
	高さ 529.4 mm 対角 1 079.8 mm	高さ 616.4 mm 対角 1 257.3 mm	高さ 680.4 mm 対角 1 387.8 mm	高さ 803.5 mm 対角 1 638.9 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)			
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C ^{*3} 湿度: 20% ~ 80% (結露のないこと)			
稼働時間	24 時間 / 日			
SLOT 用 供給電力	12 V / 最大 4.15 A	12 V / 最大 5.5 A		
HDMI 入力端子 HDMI IN 1、HDMI IN 2、 HDMI IN 3、HDMI IN 4	TYPE A コネクタ ^{*4} × 4 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)			
DisplayPort 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)			
HDMI 出力端子 HDMI OUT	TYPE A コネクタ ^{*4} × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)			
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 RS-232C 準拠			
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1			
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms] 出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)			

品番	TH-43SQE2J (43V型) ^{*1}	TH-50SQE2J (50V型) ^{*1}	TH-55SQE2J (55V型) ^{*1}	TH-65SQE2J (65V型) ^{*1}
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1			
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PLink 対応 通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX			
USB 端子 USB-C、USB	USB コネクタ TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.9 A、USB3.0 対応 USB コネクタ TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 USB コネクタ TYPE A × 1：DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 (カバー内) USB コネクタ TYPE C × 1：DC 5 V / 最大 3.0 A、USB3.0 対応、DP Alt Mode 対応			
microSD カード端子 microSD	対応規格：microSD/SDHC/SDXC 容量：最大 1TB			
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2 (サービス専用)			
外形寸法	幅 964 mm 高さ 555 mm (リモコンセンサーを 含む：573 mm) 奥行 83 mm	幅 1 121 mm 高さ 646 mm (リモコンセンサーを 含む：664 mm) 奥行 83 mm	幅 1 236 mm 高さ 710 mm (リモコンセンサーを 含む：728 mm) 奥行 84 mm	幅 1 456 mm 高さ 835 mm (リモコンセンサーを 含む：853 mm) 奥行 96 mm
質量	約 10.6 kg	約 13.7 kg	約 18.2 kg	約 24.9 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、樹脂 (側面、バックカバー)			

品番	TH-75SQE2J (75V型) ^{*1}	TH-86SQE2J (86V型) ^{*1}	TH-98SQE2J (98V型) ^{*1}
種類	UHD 液晶ディスプレイ		
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz		
	4.3 A	4.7 A	8.6 A
消費電力	225 W ^{*2}	250 W ^{*2}	530 W ^{*2}
	本体電源「切」時 約 0 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W		
音声実用最大出力	24 W (12 W + 12 W) JEITA		
スピーカー	(6 W [16 Ω フルレンジ : 10 cm × 2.5 cm / φ 1.5 cm] × 2個) × 2個		
液晶ディスプレイパネル	75V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)	86V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)	98V型 ^{*1} (アスペクト比 16:9)
	ADS パネル (Direct LED バックライト)	IPS パネル (Edge LED バックライト)	ADS パネル (Direct LED バックライト)
画面寸法	幅 1 649.6 mm 高さ 927.9 mm 対角 1 892.7 mm	幅 1 895.0 mm 高さ 1 065.9 mm 対角 2 174.2 mm	幅 2 158.8 mm 高さ 1 214.3 mm 対角 2 476.9 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)		
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C ^{*3} 湿度 : 20% ~ 80% (結露のないこと)		
稼働時間	24 時間 / 日		
SLOT 用 供給電力	12 V / 最大 5.5 A		
HDMI 入力端子 HDMI IN 1、HDMI IN 2、 HDMI IN 3、HDMI IN 4	TYPE A コネクタ ^{*4} × 4 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)		
DisplayPort 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)		
HDMI 出力端子 HDMI OUT	TYPE A コネクタ ^{*4} × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)		
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 RS-232C 準拠		
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1		
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)		
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1		
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PLink 対応 通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX		

品番	TH-75SQE2J (75V型) ※1	TH-86SQE2J (86V型) ※1	TH-98SQE2J (98V型) ※1
USB 端子 USB-C、USB	USB コネクタ TYPE A × 1 : DC 5 V / 最大 0.9 A、USB3.0 対応 USB コネクタ TYPE A × 1 : DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 USB コネクタ TYPE A × 1 : DC 5 V / 最大 0.5 A、USB2.0 対応 (カバー内) USB コネクタ TYPE C × 1 : DC 5 V / 最大 3.0 A、USB3.0 対応、DP Alt Mode 対応		
microSD カード端子 microSD	対応規格 : microSD/SDHC/SDXC 容量 : 最大 1TB		
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2 (サービス専用)		
外形寸法	幅 1 684 mm 高さ 968 mm (リモコンセンサーを含む : 984 mm) 奥行 100 mm	幅 1 929 mm 高さ 1 100 mm (リモコンセンサーを含む : 1 116 mm) 奥行 81 mm	幅 2 216 mm 高さ 1 271 mm (リモコンセンサーを含む : 1 288 mm) 奥行 99 mm
質量	約 37.4 kg	約 62.9 kg	約 99.8 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、 樹脂 (側面、バックカバー)	金属 (前面、側面、バックカバー)	

無線

無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac Dual band (無線 LAN 標準プロトコル) 使用無線チャンネル CH 1-13、CH 36-64、CH 100-140
Bluetooth	Bluetooth 5.1

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 3 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (IR 受信部正面)
質量	約 111 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 51 mm 高さ : 161 mm 奥行 : 27 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 工場出荷設定時

※ 3 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合の使用環境温度は 0 °C ~ 35 °C になります。

※ 4 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社 (パナソニック コネクト) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)、Version3.0 (LGPL V3.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品のディスプレイ設定メニューからの所定の操作によって [法的情報] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、LGPL V3.0、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、ドルビーオーディオおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	
	販売店名	☎() -	お客様ご相談窓口	
		☎() -	☎() -	

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2023